

工 種	ポストテンション場所打箱桁橋工
-----	-----------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																																																									
		現 行																																																																																																																									
現 行		改 正	備 考																																																																																																																								
(4) 緊張工○○縮○○kN (○○t) 型10ケーブル当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB472732</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>橋 り よ う 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.7～表3.9</td></tr><tr><td>橋 り よ う 特 殊 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>定 着 装 置</td><td></td><td>個</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (5) ケーブル・緊張工（縦縮・横縮・鉛直縮）10ケーブル当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB472730</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>ケ ー ブ ル 工</td><td></td><td>m</td><td></td><td>単価表 (3) (注)</td></tr><tr><td>緊 張 工</td><td></td><td>ケーブル</td><td>10</td><td>単価表 (4)</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) ケーブル10本当りケーブル延長である。 (6) 落橋防止装置取付工1組当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB472810</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>橋 り よ う 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1/D×1</td><td>表4.2, 表4.3</td></tr><tr><td>橋 り よ う 特 殊 工</td><td></td><td>〃</td><td>1/D×3</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1/D×1</td><td>〃</td></tr><tr><td>落 橋 防 止 装 置</td><td></td><td>組</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 吊出高さ対象型(第2次基準値) 25t吊</td><td>日</td><td>1/D×1</td><td>表4.1, 表4.3 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.4</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量（組／日） (7) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td><td>機－18</td><td>運転業務数量→ 1.00 燃料消費量→ 79 機械損料数量→ 1.01</td></tr></table>		施工歩掛コード		WB472732		名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	橋 り よ う 世 話 役		人		表3.7～表3.9	橋 り よ う 特 殊 工		〃		〃	型 わ く 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	定 着 装 置		個		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB472730		名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	ケ ー ブ ル 工		m		単価表 (3) (注)	緊 張 工		ケーブル	10	単価表 (4)	計					施工歩掛コード		WB472810		名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	橋 り よ う 世 話 役		人	1/D×1	表4.2, 表4.3	橋 り よ う 特 殊 工		〃	1/D×3	〃	普 通 作 業 員		〃	1/D×1	〃	落 橋 防 止 装 置		組	1		ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 吊出高さ対象型(第2次基準値) 25t吊	日	1/D×1	表4.1, 表4.3 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	機－18	運転業務数量→ 1.00 燃料消費量→ 79 機械損料数量→ 1.01	現行どおり	
施工歩掛コード		WB472732																																																																																																																									
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																							
橋 り よ う 世 話 役		人		表3.7～表3.9																																																																																																																							
橋 り よ う 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																							
型 わ く 工		〃		〃																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																							
定 着 装 置		個		〃																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																							
計																																																																																																																											
施工歩掛コード		WB472730																																																																																																																									
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																							
ケ ー ブ ル 工		m		単価表 (3) (注)																																																																																																																							
緊 張 工		ケーブル	10	単価表 (4)																																																																																																																							
計																																																																																																																											
施工歩掛コード		WB472810																																																																																																																									
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																							
橋 り よ う 世 話 役		人	1/D×1	表4.2, 表4.3																																																																																																																							
橋 り よ う 特 殊 工		〃	1/D×3	〃																																																																																																																							
普 通 作 業 員		〃	1/D×1	〃																																																																																																																							
落 橋 防 止 装 置		組	1																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 吊出高さ対象型(第2次基準値) 25t吊	日	1/D×1	表4.1, 表4.3 機械賃料																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																																																							
計																																																																																																																											
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																								
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	機－18	運転業務数量→ 1.00 燃料消費量→ 79 機械損料数量→ 1.01																																																																																																																								
IV-7-⑫-9		(7) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td><td>機－18</td><td>運転業務数量→ 1.00 燃料消費量→ 79 機械損料数量→ 1.011.02</td></tr></table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	機－18	運転業務数量→ 1.00 燃料消費量→ 79 機械損料数量→ 1.01 1.02	記載の変更																																																																																																																
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																								
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	機－18	運転業務数量→ 1.00 燃料消費量→ 79 機械損料数量→ 1.01 1.02																																																																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 3／4																																																																																																																								

改 正 理 由

一部改正

改 正
現 行

現 行

改 正

備 考

(3) ケーブル・緊張工 (縦縮・横縮・鉛直縮)

施工歩掛コード	WB472730	施工単位	ケーブル			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	作業区分	接続工の有無	緊張区分	P C ケーブル規格	P C 鋼棒規格	1 ケーブル当りのケーブル延長 (m)
	①縦縮	①有	①両締め	(表6.4)	(表6.5)	(実数入力)
	②横縮	②無	②片締め			
	③鉛直縮		③片締め			
			(固定側 (緊張用))			
			(固定側 (固定用))			

(注) 1. J 1 条件で①を選択した場合は, J 4 条件で①～③を選択する。

2. J 1 条件で②を選択した場合は, J 4 条件で④～⑥を選択する。

3. J 1 条件で③を選択した場合は, J 4 条件で⑦～⑨を選択する。

4. J 1 条件で④を選択した場合は, J 3 条件で②～③を選択する。

5. J 4 条件で①～⑥を選択した場合は, J 5 条件の入力は必要ない。

6. J 2 条件で②を選択し, J 3 条件で①～②を選択した場合は, 定着装置緊張用単価 (Y-1323000) [円/個] を単価登録すること。

7. J 2 条件で②を選択し, J 3 条件で③を選択した場合は, 定着装置緊張用単価 (Y-1323000) [円/個] 及び定着装置固定用単価 (Y-1324000) [円/個] を単価登録すること。

8. J 2 条件で①を選択した場合は J 3 条件の選択ができず片締めとなる。また, 定着装置緊張用単価 (Y-1323000) [円/個] を単価登録すること。なお, 固定側定着装置は計上出来ない。

また, 接続工は, 別途WB472580 で計上すること。

9. J 1 条件で②～③を選択した場合は, J 2 条件の選択の必要はない。

10. J 5 条件で⑤を選択した場合は, P C 鋼棒単価 (Y1321000) [円/kg] を単価登録すること。

11. J 6 条件には, 定着装置内面間のケーブルの実延長を入力すること。

12. 本コードには, P C ケーブルの材料補正を含む。

表6.4 PCケーブル規格

規 格	入力番号
マルチストランドシステム	1900kN (195 t) 型 (12S12.4A) ①
	2200kN (225 t) 型 (12S12.7B) ②
	2900kN (290 t) 型 (12S15.2A) ③
シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8) ④
	450kN (50 t) 型 (1S19.3) ⑤
	570kN (60 t) 型 (1S21.8) ⑥
バーシステム	φ23 (1B23A, 1B23B) ⑦
	φ26 (1B26A, 1B26B) ⑧
	φ32 (1B32A, 1B32B) ⑨

IV-7-⑫-11

現行どおり

表6.4 PCケーブル規格

規 格	入力番号
マルチストランドシステム	1900kN (195 t) 型 (12S12.4A) ①
	2200kN (225 t) 型 (12S12.7B) ②
	2900 3200kN (290 320 t) 型 (12S15.2A-B) ③
シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8) ④
	450kN (50 t) 型 (1S19.3) ⑤
	570kN (60 t) 型 (1S21.8) ⑥
バーシステム	φ23 (1B23A, 1B23B) ⑦
	φ26 (1B26A, 1B26B) ⑧
	φ32 (1B32A, 1B32B) ⑨

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

4 / 4

工 種	架設支保工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正										改 正 現 行													
現 行												改 正										備 考		
表4. 2 支柱支保工100空㎡当り仮設材損料表 (円)												表4. 2 支柱支保工100空㎡当り仮設材損料表 (円)												記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
開口部延長 (m)												開口部延長 (m)												
7 以下												7 以下												
10 以下												10 以下												
13 以下												13 以下												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)												支保高さ (m)												
支保高さ (m)																								

工 種	鋼製橋脚設置工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行		
現 行		改 正	備 考	
⑱ 鋼製橋脚設置工 1. 適 用 範 囲 本資料は、陸上での鋼製橋脚設置工事に適用する。 なお、本資料は、鋼製橋脚のうちI型鋼製橋脚、I型鋼製橋脚、ラケット型鋼製橋脚、門型ラーメン鋼製橋脚に適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 準備工 アンカーフレーム架設工 アンカーフレームグラウト工 フーチング部打設 鋼製橋脚地組工 鋼製橋脚架設工 脚柱基部グラウト工 足場工設置 現場溶接工 本締め工 塗装工 足場工撤去 根巻きコンクリート工 中埋コンクリート工 架設終了 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. : コンクリート工、足場・支保工、橋梁塗装工等の関連工種による。 IV-7-⑱-1		現行どおり 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 準備工 アンカーフレーム架設工 アンカーフレームグラウト工 フーチング部打設 鋼製橋脚地組工 鋼製橋脚架設工 脚柱基部グラウト工 足場工設置 現場溶接工 本締め工 塗装工 足場工撤去 根巻きコンクリート工 中埋コンクリート工 架設終了 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. : コンクリート工、足場・支保工、橋梁塗装工等の関連工種による。		記載の修正
積算上の注意事項			(控え頁) 1／1	

工 種	橋梁検査路架設工
-----	----------

改 正 理 由		一部改正	改 正		現 行	備 考																																																											
⑳ 橋梁検査路架設工 1. 適用 範 囲 本資料は、鋼橋・PC 橋の橋台・橋脚・桁間へ橋梁検査路を設置する作業に適用する。 検査路の材質は鋼製、アルミ製、FRP 製とする。なお、工場における鋼橋製作に検査路が含まれている場合、本歩掛は適用できない。 また、検査路更新工事において旧検査路撤去に関するアンカー孔処理、主桁ブラケット塗装等、撤去における一切の作業は含まない。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 準備・機材搬入 足場設置 アンカーボルト設置 検査路架設 足場撤去 機材搬出・後片付け (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 3. 施工歩掛 3-1 アンカーボルト設置歩掛 検査路架設にかかるアンカーボルト設置歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="5">表3.1 アンカーボルト設置歩掛</th><th colspan="2">(100本当り)</th></tr><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>足場有り</th><th>足場無し</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td colspan="2">1.2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td colspan="2">1.3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td colspan="2">0.7</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ア ン カ ー ボ ル ト</td><td>各種</td><td>本</td><td colspan="2">100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>トラック架装リフト（幅広デッキ、ブーム型）作業床高12m</td><td>日</td><td>—</td><td>1.1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td colspan="2">2</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は、検査路を架設する際のアンカーボルト設置（コンクリート削孔含む）である。 2. 諸雑費は、ハンマドリル・発電機電機具の損料、燃料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 足場の設置は、別途計上する。 4. 高所作業車は、賃料とする。 なお、現場条件等により上記の高所作業車規格により難しい場合は、別途考慮する。 IV-7-㉔-1			表3.1 アンカーボルト設置歩掛					(100本当り)		名 称	規 格	単 位	数 量				足場有り	足場無し	土 木 一 般 世 話 役		人	1.2				特 殊 作 業 員		人	1.3				普 通 作 業 員		人	0.7				ア ン カ ー ボ ル ト	各種	本	100				高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト（幅広デッキ、ブーム型）作業床高12m	日	—	1.1			諸 雑 費 率		%	2				現行どおり 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 準備・機材搬入 足場設置 アンカーボルト設置 検査路架設 足場撤去 機材搬出 (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 現行どおり			記載の修正	
			表3.1 アンカーボルト設置歩掛					(100本当り)																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量																																																														
			足場有り	足場無し																																																													
土 木 一 般 世 話 役		人	1.2																																																														
特 殊 作 業 員		人	1.3																																																														
普 通 作 業 員		人	0.7																																																														
ア ン カ ー ボ ル ト	各種	本	100																																																														
高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト（幅広デッキ、ブーム型）作業床高12m	日	—	1.1																																																													
諸 雑 費 率		%	2																																																														
積算上の注意事項						(控え頁) 1／1																																																											

第 V 編 公園

工 種	公園植栽工
-----	-------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	
現 行		改 正	備 考
第1章 公園植栽工		第1章 公園植栽工	記載の修正
① 公園植栽工		① 公園植栽工	
1. 適用範囲 本資料は、公園の植栽作業及び移植作業に適用する。なお、高木とは、樹高3m以上、中低木とは、樹高3m未満とする。		1. 適用範囲 本資料は、公園の植栽作業及び移植作業に適用する。なお、高木とは、樹高3m以上、中低木とは、樹高3m未満とする。	
2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする		2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする	
(1) 植栽工（植栽） 準備 ↓ 配植 ↓ 植穴掘 ↓ 植付け ↓ 埋戻し ↓ 養生 ↓ 後片付け (2) 植栽工（支柱設） 準備 ↓ 支柱建込 ↓ 支柱結束 ↓ 後片付け (3) 移植工 準備 ↓ 床掘り、掘下げ ↓ 吊上げ、養生 ↓ 根巻き ↓ 幹巻き ↓ 埋戻し ↓ 運搬 ↓ 植栽 ↓ 後片付け (4) 地被類植付 準備 ↓ 地摺え ↓ 植付け ↓ 目土かけ ↓ 後片付け (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー V-1-①-1		(1) 植栽工（植栽） 準備 ↓ 配植 ↓ 植穴掘 ↓ 植付け ↓ 埋戻し ↓ 養生 ↓ 後片付け (2) 植栽工（支柱設） 準備 ↓ 支柱建込 ↓ 支柱結束 ↓ 後片付け (3) 移植工 準備 ↓ 床掘り、掘下げ ↓ 吊上げ、養生 ↓ 根巻き ↓ 幹巻き ↓ 埋戻し ↓ 運搬 ↓ 植栽 ↓ 後片付け (4) 地被類植付 準備 ↓ 地摺え ↓ 植付け ↓ 目土かけ ↓ 後片付け (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1

第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価

工 種	区画線工
-----	------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行									
現 行				改 正		備 考							
5. 参考資料				現行どおり		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)							
表 5. 1 区画線工で使用する一般的な材料仕様													
規格・仕様 (同等以上)		種 別		施工方式									
JIS K 5665 1 種 A		トラフィックペイント常温型		ペイント式水性型									
JIS K 5665 1 種 B				ペイント式溶剤型									
JIS K 5665 2 種 A		トラフィックペイント加熱型		ペイント式水性型									
JIS K 5665 2 種 B				ペイント式溶剤型									
JIS K 5665 3 種		トラフィックペイント溶融型		溶融式									
JIS R 3301		ガラスビーズ		各方式に合わせて使用									
区画線用		プライマー		溶融式									
表 5. 2 溶融式 (手動) の標準的な材料使用量 (1,000m 当たり)				表 5. 2 溶融式 (手動) の標準的な材料使用量 (1,000m 当たり)									
名称		区分		単位		実線		破線		ゼブラ		単位・数値・文字	
						15cm		20cm		30cm		45cm	
塗料				kg		570 (390)		760 (520)		1130 (780)		1700 (1170)	
		排水性舗装に施工する場合		kg		855 (585)		1140 (780)		1695 (1170)		2550 (1755)	
ガラスビーズ				kg		25		33		50		75	
				kg		25		33		50		75	
軽油				L		44		48		71		80	
		排水性舗装に施工する場合		L		46		50		74		84	
		未供用区間に施工する場合		L		40		43		65		73	
		排水性舗装で未供用区間に施工する場合		L		42		46		68		77	
※塗布厚 1.5 mm の場合の使用量であり、() 内は塗布厚 1.0mm の場合の使用量である。				※塗布厚 1.5 mm の場合の使用量であり、() 内は塗布厚 1.0mm の場合の使用量である。									
※使用材料の塗料、ガラスビーズ、プライマーはロス分を含む数量である。				※使用材料の塗料、ガラスビーズ、プライマーはロス分を含む数量である。									
※プロパンガス等の費用は主材料 (塗料、ガラスビーズ、燃料) の 5% を計上する。				※プロパンガス等の費用は主材料 (塗料、ガラスビーズ、燃料) の 5% を計上する。									
表 5. 3 ペイント式 (車載式) の標準的な材料使用量 (1,000m 当たり)				表 5. 3 ペイント式 (車載式) の標準的な材料使用量 (1,000m 当たり)									
名 称		区 分		単位		実線		破線		ゼブラ		単位・数値・文字	
						15cm		15cm		30cm		45cm	
塗料		加熱式で施工する場合		L		70		70		140		170	
		常温式で施工する場合		L		50		50		100		120	
ガラスビーズ		加熱式で施工する場合		kg		59		59		118		142	
		常温式で施工する場合		kg		39		39		78		95	
軽油				L		34		41		51		62	
		未供用区間に施工する場合		L		27		32		40		49	
※使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。				※使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。									
※プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料 (塗料、ガラスビーズ、燃料) の 3% を計上する。				※プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料 (塗料、ガラスビーズ、燃料) の 3% を計上する。									
表 5. 4 区画線消去 (削取り式) の燃料使用量 (1,000m 当たり)				表 5. 4 区画線消去 (削取り式) の燃料使用量 (1,000m 当たり)									
名称		単位		15cm 換算		名称		単位		15cm 換算			
軽油		L		67		軽油		L		62			
ガソリン		L		37		ガソリン		L		35			
VI-1-①-7													
積算上の注意事項												(控え頁)	
												1 / 1	

工 種	橋梁塗装工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行																																																																																																					
現 行			改 正		備 考																																																																																																			
(4) 中塗り・上塗り（新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB821540</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="7">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td><td>J 7</td></tr><tr><td>塗装区分</td><td>作業区分</td><td>構造物別の 補正係数</td><td>時間的制約の有無</td><td>夜間作業 の有無</td><td>塗装区分</td><td>色彩</td></tr><tr><td>①新橋現場塗装 ②新橋継手部 現場塗装</td><td>①中塗り ②上塗り</td><td>①無し ②横断歩道橋・ 側道橋 ③弦材を有する 構造 ④床版補強鋼板 現場塗装</td><td>①無し ②有り ③著しく有り</td><td>①無し ②有り</td><td>(表 4.2 ～表 4.3)</td><td>①赤系 ②淡彩 ③濃彩</td></tr><tr><td colspan="6">(注) J 1 条件で②を選択した場合は、新橋継手部現場塗装補正係数 (K 5) が考慮されており、J 3 条件 を入力する必要はない。</td></tr></table> 表 4. 2 新橋中塗り塗料区分 <table><tr><td>塗料系</td><td>規 格 ・ 仕 様</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>A－5 F－15</td><td>長油性フタル酸樹脂塗料</td><td>①</td></tr><tr><td>F－11 F－13</td><td>ふっ素樹脂塗料用</td><td>②</td></tr></table> 表 4. 3 新橋上塗り塗料区分 <table><tr><td>塗料系</td><td>規 格 ・ 仕 様</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>A－5 F－15</td><td>長油性フタル酸樹脂塗料</td><td>①</td></tr><tr><td>F－11 F－13</td><td>ふっ素樹脂塗料</td><td>②</td></tr></table> VI-1-③-8			施工歩掛コード	WB821540	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件							各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	塗装区分	作業区分	構造物別の 補正係数	時間的制約の有無	夜間作業 の有無	塗装区分	色彩	①新橋現場塗装 ②新橋継手部 現場塗装	①中塗り ②上塗り	①無し ②横断歩道橋・ 側道橋 ③弦材を有する 構造 ④床版補強鋼板 現場塗装	①無し ②有り ③著しく有り	①無し ②有り	(表 4.2 ～表 4.3)	①赤系 ②淡彩 ③濃彩	(注) J 1 条件で②を選択した場合は、新橋継手部現場塗装補正係数 (K 5) が考慮されており、J 3 条件 を入力する必要はない。						塗料系	規 格 ・ 仕 様	入力番号	A－5 F－15	長油性フタル酸樹脂塗料	①	F－11 F－13	ふっ素樹脂塗料用	②	塗料系	規 格 ・ 仕 様	入力番号	A－5 F－15	長油性フタル酸樹脂塗料	①	F－11 F－13	ふっ素樹脂塗料	②	(4) 中塗り・上塗り（新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB821540</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="7">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td><td>J 7</td></tr><tr><td>塗装区分</td><td>作業区分</td><td>構造物別の 補正係数</td><td>時間的制約の有無</td><td>夜間作業 の有無</td><td>塗装区分 塗料区分</td><td>色彩</td></tr><tr><td>①新橋現場塗装 ②新橋継手部 現場塗装</td><td>①中塗り ②上塗り</td><td>①無し ②横断歩道橋・ 側道橋 ③弦材を有する 構造 ④床版補強鋼板 現場塗装</td><td>①無し ②有り ③著しく有り</td><td>①無し ②有り</td><td>(表 4.2 ～表 4.3)</td><td>①赤系 ②淡彩 ③濃彩</td></tr><tr><td colspan="6">(注) J 1 条件で②を選択した場合は、新橋継手部現場塗装補正係数 (K 5) が考慮されており、J 3 条件 を入力する必要はない。</td></tr></table> 現行どおり			施工歩掛コード	WB821540	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件							各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	塗装区分	作業区分	構造物別の 補正係数	時間的制約の有無	夜間作業 の有無	塗装区分 塗料区分	色彩	①新橋現場塗装 ②新橋継手部 現場塗装	①中塗り ②上塗り	①無し ②横断歩道橋・ 側道橋 ③弦材を有する 構造 ④床版補強鋼板 現場塗装	①無し ②有り ③著しく有り	①無し ②有り	(表 4.2 ～表 4.3)	①赤系 ②淡彩 ③濃彩	(注) J 1 条件で②を選択した場合は、新橋継手部現場塗装補正係数 (K 5) が考慮されており、J 3 条件 を入力する必要はない。						記載の変更
施工歩掛コード	WB821540	施工単位	m ²																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																																																	
	塗装区分	作業区分	構造物別の 補正係数	時間的制約の有無	夜間作業 の有無	塗装区分	色彩																																																																																																	
	①新橋現場塗装 ②新橋継手部 現場塗装	①中塗り ②上塗り	①無し ②横断歩道橋・ 側道橋 ③弦材を有する 構造 ④床版補強鋼板 現場塗装	①無し ②有り ③著しく有り	①無し ②有り	(表 4.2 ～表 4.3)	①赤系 ②淡彩 ③濃彩																																																																																																	
	(注) J 1 条件で②を選択した場合は、新橋継手部現場塗装補正係数 (K 5) が考慮されており、J 3 条件 を入力する必要はない。																																																																																																							
塗料系	規 格 ・ 仕 様	入力番号																																																																																																						
A－5 F－15	長油性フタル酸樹脂塗料	①																																																																																																						
F－11 F－13	ふっ素樹脂塗料用	②																																																																																																						
塗料系	規 格 ・ 仕 様	入力番号																																																																																																						
A－5 F－15	長油性フタル酸樹脂塗料	①																																																																																																						
F－11 F－13	ふっ素樹脂塗料	②																																																																																																						
施工歩掛コード	WB821540	施工単位	m ²																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																																																	
	塗装区分	作業区分	構造物別の 補正係数	時間的制約の有無	夜間作業 の有無	塗装区分 塗料区分	色彩																																																																																																	
	①新橋現場塗装 ②新橋継手部 現場塗装	①中塗り ②上塗り	①無し ②横断歩道橋・ 側道橋 ③弦材を有する 構造 ④床版補強鋼板 現場塗装	①無し ②有り ③著しく有り	①無し ②有り	(表 4.2 ～表 4.3)	①赤系 ②淡彩 ③濃彩																																																																																																	
	(注) J 1 条件で②を選択した場合は、新橋継手部現場塗装補正係数 (K 5) が考慮されており、J 3 条件 を入力する必要はない。																																																																																																							
積算上の注意事項					(控え頁) 1／1																																																																																																			

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																								
現 行		改 正	備 考																							
⑥ 排水構造物工 1. 適 用 範 囲 1－1 標準単価が適用出来る範囲 (1) 排水構造物工のうちプレキャスト製品によるU型（落蓋型、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む）側溝、自由勾配側溝及び蓋版の設置、再利用撤去工事に適用。 1－2 標準単価が適用出来ない範囲 (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの 1) 再利用を目的としない側溝本体及び蓋版本体の撤去工事。 2) 地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置工事。 (2) 特別調査等別途考慮するもの 1) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 2) その他、規格・仕様等が適合しない場合。 2. 標準単価の設定 2－1 標準単価の構成と範囲 標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。 <table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">標準単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>U 型 側 溝</td><td>○</td><td>○</td><td>×※</td></tr></table> (注) 1. 側溝本体、基礎碎石の材料費は含まない。 2. 敷モルタルの材料費（材料ロス含む）は含む。 3. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカット、目地モルタル、U型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 4. 基面整正は含まない。 5. ※については、施工単価入力基準表（WB821410）で考慮されているため別途計上する必要はない。 <table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">標準単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>自 由 勾 配 側 溝</td><td>○</td><td>○</td><td>×※</td></tr></table> (注) 1. 側溝本体、基礎碎石、基礎コンクリート、底部コンクリートの材料費は含まない。 2. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカット、目地モルタル、自由勾配側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 3. 基面整正は含まない。 4. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。 なお、必要な場合は別途計上する。 5. ※については、施工単価入力基準表、（WB821420）で考慮されているため別途計上する必要はない。 VI-1-⑥-1		工 種	標準単価			機	労	材	U 型 側 溝	○	○	×※	工 種	標準単価			機	労	材	自 由 勾 配 側 溝	○	○	×※	現行どおり (注) 1. 側溝本体、基礎碎石の材料費は含まない。 2. 敷モルタルの材料費（材料ロス含む）は含む。 3. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカット、目地モルタル、U型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 4. 側溝本体の切断により生じる粉塵の処理については、別途考慮する。 5. 基面整正は含まない。 6. ※については、施工単価入力基準表（WB821410）で考慮されているため別途計上する必要はない。 現行どおり (注) 1. 側溝本体、基礎碎石、基礎コンクリート、底部コンクリートの材料費は含まない。 2. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカット、目地モルタル、自由勾配側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 3. 側溝本体の切断により生じる粉塵の処理については、別途考慮する。 4. 基面整正は含まない。 5. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。 なお、必要な場合は別途計上する。 6. ※については、施工単価入力基準表、（WB821420）で考慮されているため別途計上する必要はない。		記載の変更 記載の変更
工 種	標準単価																									
	機	労	材																							
U 型 側 溝	○	○	×※																							
工 種	標準単価																									
	機	労	材																							
自 由 勾 配 側 溝	○	○	×※																							
積算上の注意事項			（控え頁） 1／3																							

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																			
	現	正	備 考																																																																																		
2－3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準		2－3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準																																																																																			
表2. 2 補正係数の適用基準		表2. 2 補正係数の適用基準																																																																																			
<table><tr><th>規 格・仕 様</th><th>適 用 基 準</th><th>記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="7">補 正 係 数</td><td>L＝1,000mmを使用する場合</td><td>使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>L＝4,000mmを使用する場合</td><td>使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₂</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>L＝5,000mmを使用する場合</td><td>使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₃</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>法 面 小 段 面</td><td>法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₄</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>法 面 縦 排 水</td><td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₅</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>基礎碎石を施工しない場合</td><td>基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₆</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>再 利 用 撤 去</td><td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₇</td><td>対象数量</td></tr></table>		規 格・仕 様	適 用 基 準	記号	備 考	補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L＝4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	L＝5,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量	法 面 小 段 面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量	法 面 縦 排 水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量	再 利 用 撤 去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象数量	<table><tr><th>規 格・仕 様</th><th>適 用 基 準</th><th>記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="7">補 正 係 数</td><td>L＝1,000mmを使用する場合</td><td>使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>L＝4,000mmを使用する場合</td><td>使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₂</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>L＝5,000mmを使用する場合</td><td>使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₃</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>法 面 小 段 面</td><td>法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₄</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>法 面 縦 排 水</td><td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₅</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>基礎碎石を施工しない場合</td><td>基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₆</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>再 利 用 撤 去</td><td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₇</td><td>対象数量</td></tr></table>		規 格・仕 様	適 用 基 準	記号	備 考	補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L＝4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	L＝5,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K₃	対象数量	法 面 小 段 面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量	法 面 縦 排 水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量	再 利 用 撤 去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象数量																
規 格・仕 様	適 用 基 準	記号	備 考																																																																																		
補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																	
	L＝4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																	
	L＝5,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量																																																																																	
	法 面 小 段 面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量																																																																																	
	法 面 縦 排 水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量																																																																																	
	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量																																																																																	
	再 利 用 撤 去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象数量																																																																																	
規 格・仕 様	適 用 基 準	記号	備 考																																																																																		
補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																	
	L＝4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																	
	L＝5,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K₃	対象数量																																																																																	
	法 面 小 段 面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量																																																																																	
	法 面 縦 排 水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量																																																																																	
	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量																																																																																	
	再 利 用 撤 去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象数量																																																																																	
(2) 補正係数の数値		(2) 補正係数の数値																																																																																			
表2. 3 補正係数の数値		表2. 3 補正係数の数値																																																																																			
<table><tr><th>区 分</th><th>記 号</th><th>U型側溝</th><th>自由勾配側溝</th><th>蓋 版</th></tr><tr><td rowspan="7">補 正 係 数</td><td>L＝1,000mmを使用する場合</td><td>K₁</td><td>1.17</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>L＝4,000mmを使用する場合</td><td>K₂</td><td>0.93</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>L＝5,000mmを使用する場合</td><td>K₃</td><td>0.88</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>法 面 小 段 面</td><td>K₄</td><td>1.21</td><td>—</td><td>1.00</td></tr><tr><td>法 面 縦 排 水</td><td>K₅</td><td>1.38</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>基礎碎石を施工しない場合</td><td>K₆</td><td>0.87</td><td>0.87</td><td>—</td></tr><tr><td>再 利 用 撤 去</td><td>K₇</td><td>0.51</td><td>—</td><td>0.62</td></tr></table>		区 分	記 号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋 版	補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—	L＝4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—	L＝5,000mmを使用する場合	K ₃	0.88	—	—	法 面 小 段 面	K ₄	1.21	—	1.00	法 面 縦 排 水	K ₅	1.38	—	—	基礎碎石を施工しない場合	K ₆	0.87	0.87	—	再 利 用 撤 去	K ₇	0.51	—	0.62	<table><tr><th>区 分</th><th>記 号</th><th>U型側溝</th><th>自由勾配側溝</th><th>蓋 版</th></tr><tr><td rowspan="7">補 正 係 数</td><td>L＝1,000mmを使用する場合</td><td>K₁</td><td>1.17</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>L＝4,000mmを使用する場合</td><td>K₂</td><td>0.93</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>L＝5,000mmを使用する場合</td><td>K₃</td><td>0.88</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>法 面 小 段 面</td><td>K₄</td><td>1.21</td><td>—</td><td>1.00</td></tr><tr><td>法 面 縦 排 水</td><td>K₅</td><td>1.38</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>基礎碎石を施工しない場合</td><td>K₆</td><td>0.87</td><td>0.87</td><td>—</td></tr><tr><td>再 利 用 撤 去</td><td>K₇</td><td>0.51</td><td>—</td><td>0.62</td></tr></table>		区 分	記 号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋 版	補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—	L＝4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—	L＝5,000mmを使用する場合	K₃	0.88	—	—	法 面 小 段 面	K ₄	1.21	—	1.00	法 面 縦 排 水	K ₅	1.38	—	—	基礎碎石を施工しない場合	K ₆	0.87	0.87	—	再 利 用 撤 去	K ₇	0.51	—	0.62
区 分	記 号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋 版																																																																																	
補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—																																																																																
	L＝4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—																																																																																
	L＝5,000mmを使用する場合	K ₃	0.88	—	—																																																																																
	法 面 小 段 面	K ₄	1.21	—	1.00																																																																																
	法 面 縦 排 水	K ₅	1.38	—	—																																																																																
	基礎碎石を施工しない場合	K ₆	0.87	0.87	—																																																																																
	再 利 用 撤 去	K ₇	0.51	—	0.62																																																																																
区 分	記 号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋 版																																																																																	
補 正 係 数	L＝1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—																																																																																
	L＝4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—																																																																																
	L＝5,000mmを使用する場合	K₃	0.88	—	—																																																																																
	法 面 小 段 面	K ₄	1.21	—	1.00																																																																																
	法 面 縦 排 水	K ₅	1.38	—	—																																																																																
	基礎碎石を施工しない場合	K ₆	0.87	0.87	—																																																																																
	再 利 用 撤 去	K ₇	0.51	—	0.62																																																																																
(注) 1. L＝1,000mmを使用する場合の補正係数(K ₁)、L＝4,000mmを使用する場合の補正係数(K ₂)及びL＝5,000mmを使用する場合の補正係数(K ₃)が補正の対象としているのはU型L＝2,000mmであり、各々の個当り質量を2mに換算し、適合する規格・仕様の単価を係数で補正する。		(注) 1. L＝1,000mmを使用する場合の補正係数(K₁)、L＝4,000mmを使用する場合の補正係数(K₂)及びL＝5,000mmを使用する場合の補正係数(K₃) が補正の対象としているのはU型L＝2,000mmであり、各々の個当り質量を2mに換算し、適合する規格・仕様の単価を係数で補正する。																																																																																			
2－4 直接工事費の算出 〔設置〕 直接工事費＝(設計単価(注1)×設計数量)＋材料費(注2又は注3) (注1) 設計単価＝標準単価×(K ₁ ×K ₂ ×……×K ₆) (注2) 材 料 費＝側溝材料単価×設計数量＋基礎碎石材料単価×設計数量×1.20(ロス分) ＋コンクリート材料単価×設計数量×1.06(ロス分) (注3) 材 料 費＝蓋版材料単価×設計数量		2－4 直接工事費の算出 〔設置〕 直接工事費＝(設計単価(注1)×設計数量)＋材料費(注2又は注3) (注1) 設計単価＝標準単価×(K ₁ ×K ₂ ×……×K ₆) (注2) 材 料 費＝側溝材料単価×設計数量＋基礎碎石材料単価×設計数量×1.20(ロス分) ＋コンクリート材料単価×設計数量×1.06(ロス分) (注3) 材 料 費＝蓋版材料単価×設計数量																																																																																			
VI-1-㉔-3																																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 2／3																																																																																		

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																															
						現 行																																																																															
現 行						改 正						備 考																																																																									
4. 施工単価入力基準表 (1) U型側溝						4. 施工単価入力基準表 (1) U型側溝						記載の変更																																																																									
<table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB821410</td><td>施工単位</td><td>m</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="2">施工区分</td><td colspan="5">J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td colspan="5">作業区分</td><td>L=1,000mm L=4,000mm L=5,000mm の使用の有無</td><td>夜間作業の有無</td><td>U型側溝の種類</td><td>規格・仕様区分</td></tr><tr><td rowspan="2">各 種</td><td colspan="5">①据付け ②再利用撤去 ③再利用撤去・据付け</td><td>①無し ②L=1,000mm ③L=4,000mm ④L=5,000mm</td><td>①無し ②有り</td><td>(表4.3)</td><td>(表4.1)</td></tr></table>						施工歩掛コード	WB821410	施工単位	m	入 力 条 件				施工区分	J 1					J 2	J 3	J 4	J 5	作業区分					L=1,000mm L=4,000mm L=5,000mm の使用の有無	夜間作業の有無	U型側溝の種類	規格・仕様区分	各 種	①据付け ②再利用撤去 ③再利用撤去・据付け					①無し ②L=1,000mm ③L=4,000mm ④L=5,000mm	①無し ②有り	(表4.3)	(表4.1)	<table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB821410</td><td>施工単位</td><td>m</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="2">施工区分</td><td colspan="5">J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td colspan="5">作業区分</td><td>L=1,000mm L=4,000mm L=5,000mm の使用の有無</td><td>夜間作業の有無</td><td>U型側溝の種類</td><td>規格・仕様区分</td></tr><tr><td rowspan="2">各 種</td><td colspan="5">①据付け ②再利用撤去 ③再利用撤去・据付け</td><td>①無し ②L=1,000mm ③L=4,000mm ④L=5,000mm</td><td>①無し ②有り</td><td>(表4.3)</td><td>(表4.1)</td></tr></table>						施工歩掛コード	WB821410	施工単位	m	入 力 条 件			施工区分	J 1					J 2	J 3	J 4	J 5	作業区分					L=1,000mm L=4,000mm L=5,000mm の使用の有無	夜間作業の有無	U型側溝の種類	規格・仕様区分	各 種	①据付け ②再利用撤去 ③再利用撤去・据付け					①無し ②L=1,000mm ③L=4,000mm ④L=5,000mm	①無し ②有り	(表4.3)	(表4.1)	記載の変更
施工歩掛コード	WB821410	施工単位	m	入 力 条 件																																																																																	
施工区分	J 1					J 2	J 3	J 4	J 5																																																																												
	作業区分					L=1,000mm L=4,000mm L=5,000mm の使用の有無	夜間作業の有無	U型側溝の種類	規格・仕様区分																																																																												
各 種	①据付け ②再利用撤去 ③再利用撤去・据付け					①無し ②L=1,000mm ③L=4,000mm ④L=5,000mm	①無し ②有り	(表4.3)	(表4.1)																																																																												
	施工歩掛コード	WB821410	施工単位	m	入 力 条 件																																																																																
施工区分	J 1					J 2	J 3	J 4	J 5																																																																												
	作業区分					L=1,000mm L=4,000mm L=5,000mm の使用の有無	夜間作業の有無	U型側溝の種類	規格・仕様区分																																																																												
各 種	①据付け ②再利用撤去 ③再利用撤去・据付け					①無し ②L=1,000mm ③L=4,000mm ④L=5,000mm	①無し ②有り	(表4.3)	(表4.1)																																																																												
	(注) 1. J 1 条件において②及び③を選択した場合、U型側溝の単価登録をする必要はない。 2. J 1 条件において②を選択した場合、J 8 条件、J 9 条件及び J 10 条件は選択する必要はない。 3. J 2 条件において②～④を選択した場合、個当り質量を2mに換算し、表4.1 の③～⑤に適合する規格・仕様を選択するため、J 4 条件は⑤を選択し、J 5 条件は③～⑤を選択すること。 4. J 4 条件において⑤を選択した場合、側溝単価 (Y-0300000) [円/個] を単価登録すること。 5. J 4 条件において⑤を選択した場合のみ、J 5 条件を選択すること。 6. J 8 条件において①を選択した場合のみ、J 9 及び J 10 条件を選択すること。 7. J 9 条件において⑥を選択した場合、砕石単価 (Y-0241000) [円/㎡] を単価登録すること。 8. 基礎砕石の材料使用量の補正を含む。 9. U型側溝材料が支給品の場合は支給品扱いとして計上する。																																																																																				
<table><tr><th colspan="3">表4.1 規格・仕様</th></tr><tr><th>規 格</th><th>質 量</th><th>入力番号</th></tr><tr><td rowspan="2">L =600mm</td><td>60kg/個以下</td><td>①</td></tr><tr><td>60を超え300kg/個以下</td><td>②</td></tr><tr><td rowspan="3">L =2,000mm</td><td>1,000kg/個以下</td><td>③</td></tr><tr><td>1,000を超え2,000kg/個以下</td><td>④</td></tr><tr><td>2,000を超え2,900kg/個以下</td><td>⑤</td></tr></table>						表4.1 規格・仕様			規 格	質 量	入力番号	L =600mm	60kg/個以下	①	60を超え300kg/個以下	②	L =2,000mm	1,000kg/個以下	③	1,000を超え2,000kg/個以下	④	2,000を超え2,900kg/個以下	⑤	VI-1-⑥-5																																																													
表4.1 規格・仕様																																																																																					
規 格	質 量	入力番号																																																																																			
L =600mm	60kg/個以下	①																																																																																			
	60を超え300kg/個以下	②																																																																																			
L =2,000mm	1,000kg/個以下	③																																																																																			
	1,000を超え2,000kg/個以下	④																																																																																			
	2,000を超え2,900kg/個以下	⑤																																																																																			
積算上の注意事項						現行どおり						(控え頁) 3/3																																																																									

工 種	防護柵設置工(横断・転落防止柵)
-----	------------------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正 現 行							
現 行				改 正							
③ー３ 防護柵設置工（横断・転落防止柵） 1. 適 用 範 囲 本資料は、市場単価方式による、柵高 70cm 以上 125cm 以下の防護柵設置工（横断・転落防止柵）に適用する。 1ー１ 市場単価が適用出来る範囲 （１）新設・更新、撤去工事。 （２）部材設置、部材撤去工事。 1ー２ 市場単価が適用出来ない範囲 （１）見積り等により別途積算するもの。 （１）事故後の復旧工事（撤去）。 （２）生活道路用柵の場合。 （２）特別調査等別途考慮するもの。 （１）防護柵（P 種）〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。 （２）高さが 125cm 超の場合。 （３）門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。 （４）アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。 （５）勾配 2 割未満（1:2.0 未満）の階段部、法面に設置する場合。 （６）離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 （７）その他、規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。 2. 市場単価の設定 2ー１ 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。 ① 防護柵（横断・転落防止柵）設置				③ー3 防護柵設置工（横断・転落防止柵） 1. 適 用 範 囲 本資料は、市場単価方式による、柵高 70cm 以上 125cm 以下の防護柵設置工（横断・転落防止柵）に適用する。 1ー１ 市場単価が適用出来る範囲 （１）新設・更新、撤去工事。 （２）部材設置、部材撤去工事。 1ー２ 市場単価が適用出来ない範囲 （１）見積り等により別途積算するもの。 （１）事故後の復旧工事（撤去）。 （２）生活道路用柵の場合。 （２）特別調査等別途考慮するもの。 （１）防護柵（P 種）〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。 （２）高さが 125cm 超の場合。 （３）門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。 （４）アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。 （５）勾配 2 割未満（1:2.0 未満）の階段部、法面に設置する場合。 （６）離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 （７）その他、規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。				記載の変更			
VI-2-③-24				現行どおり							
積算上の注意事項				(控え頁) 1／3							

工 種	防護柵設置工(横断・転落防止柵)
-----	------------------

改 正 理 由	一部改正		改 正	
			現 行	
現 行		改 正		備 考
前頁から移動		2. 防護柵設置の施工規模は、土中建込、コンクリート建込、プレキャストコンクリートブロック建込、アンカーボルト固定それぞれ 1 工事の全体数量で判断する。 2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価(注)×設計数値 (注) 設計単価＝標準の市場単価×(1+S ₀ or S ₁ or S ₂ ／100)×(K ₁ ×K ₂ ×K ₃ or K ₄ or K ₅)＋材料費 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。 (2) プレキャストコンクリートブロック建込の根入れ深さが変わる場合でも、プレキャストコンクリートブロック質量が 100kg 未満であれば適用出来る。 (3) 根巻きコンクリートは、プレキャストコンクリートブロック、現場打設を問わず適用出来る。 (4) 部材の色を問わず適用出来る。		記載の変更
VI-2-③-28				
積算上の注意事項				(控え頁) 3／3

工 種	防護柵設置工(落石防護柵)
-----	---------------

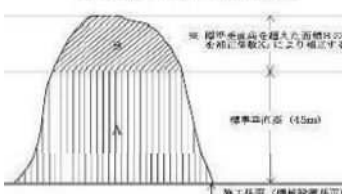
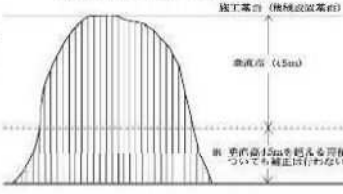
改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																		
		現 行																				
現 行		改 正																				
③ー4 防護柵設置工(落石防護柵)		現行どおり		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																		
1. 適 用 範 囲 本資料は市場単価方式による、落石防護柵（ストーンガード）設置及び撤去工に適用する。 なお、市場単価の適用工種は、下記のとおりとする。 1ー1 市場単価が適用できる範囲 (1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵（ストーンガード）設置及び撤去に適用し、柵高は4 m以下、支柱間隔は3 m（耐雪型（上弦材付き）は3 m、2 m）とする。 (2) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。 1ー2 市場単価が適用できない範囲 (1) 特別調査等別途考慮するもの。 1) 柵高が1.5 m未満、または4 mを超える場合。 2) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材なし）の場合。 3) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材付き）で柵高が3 mを超える場合。 4) 落雪（せり出し）防護柵の場合。 5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。 6) 高エネルギー吸収柵の場合。 7) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 8) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 (2) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。 2. 市場単価の設定 2ー1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の□及びフロー図の実線の部分である。 <table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th><th rowspan="2">支柱 建 込 み</th><th rowspan="2">ステー アン カー ロー プ・ 設置</th><th rowspan="2">ロー ープ 設置</th><th rowspan="2">金 網 等 設 置</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>支柱設置工 (中間及び端末)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 材料の現場内小運搬・持ち上げを含む。 2. 索端金具・Uボルトの材料費及び設置費を含む。		工 種	市場単価			支柱 建 込 み	ステー アン カー ロー プ・ 設置	ロー ープ 設置	金 網 等 設 置	機	労	材	支柱設置工 (中間及び端末)	○	○	○					現行どおり	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
工 種	市場単価			支柱 建 込 み	ステー アン カー ロー プ・ 設置					ロー ープ 設置	金 網 等 設 置											
	機	労	材																			
支柱設置工 (中間及び端末)	○	○	○																			
table> <tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th><th rowspan="2">支柱 建 込 み</th><th rowspan="2">ステー アン カー ロー プ・ 設置</th><th rowspan="2">ロー ープ 設置</th><th rowspan="2">金 網・間 隔 保 持 材 設 置</th></tr> <tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr> <tr><td>ロープ・金網設置 工 (間隔保持材付き)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>		工 種	市場単価			支柱 建 込 み	ステー アン カー ロー プ・ 設置	ロー ープ 設置	金 網・間 隔 保 持 材 設 置	機	労	材	ロープ・金網設置 工 (間隔保持材付き)	○	○	○						
工 種	市場単価			支柱 建 込 み	ステー アン カー ロー プ・ 設置					ロー ープ 設置	金 網・間 隔 保 持 材 設 置											
	機	労	材																			
ロープ・金網設置 工 (間隔保持材付き)	○	○	○																			

(注) 1. 材料の現場内小運搬・持ち上げを含む。
2. 間隔保持材が必要ない場合は補正係数にて補正すること。 table>| 工 種 | 市場単価 | | | 支柱 建 込 み | ステー アン カー ロー プ・ 設置 | ロー ープ 設置 | 金 網・上 弦 材 設 置 | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 機 | 労 | 材 | | | | | | | | | | || 積算上の注意事項 | | | | (控え頁) 1／1 |

工 種	防護柵設置工(落石防止網)
-----	---------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行		
現 行		改 正		
③ー5 防護柵設置工（落石防止網）				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
1. 適 用 範 囲 本資料は、市場単価方式による落石防止網（ロックネット）設置工に適用する。 1ー1 市場単価が適用できる範囲 （1） 資材持ち上げ直高が 45m以下で、覆式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置工及びポケット式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置工のうち支柱がアンカー固定式による場合の新設工事。 （2） 支柱の表面仕様が工場メッキ仕上げ、または現場塗装仕上げ（メッキなし）の場合。 1ー2 市場単価が適用できない範囲 （1） 特別調査等別途考慮するもの。 1） ロープ伏工及び密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 2） ポケット式の鋼製落石防止網（ロックネット）設置工のうち、支柱が埋め込み式及びミニポケット式（支柱据置式）による場合。 3） アンカー及び支柱の設置がコンクリートの基礎による場合。 4） 支柱の表面仕様がメッキの上に塗装仕上げする場合。 5） 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 6） その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 7） 落石防止網（繊維網）設置工。 2. 市場単価の設定 2ー1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。		現行どおり 		

工 種	法面工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行			
現 行				改 正			
表2. 6 主体種子				現行どおり			
草 本 類	外 来 種	トールフェスク クリーピングレッドフェスク オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー バミューダグラス パピアグラス ホワイトクローバー ベレニアルライグラス イタリアンライグラス ペントグラス レッドトップ					
	在 来 種	ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ					
木 本 類	在 来 種	ヤマハギ（皮取り） ヤマハギ（皮付き） コマツナギ					
(注) 種子は外国産を対象とする。							
2－3 加算率・補正係数				2－3 加算率・補正係数			
(1) 加算率・補正係数の適用基準				(1) 加算率・補正係数の適用基準			
表2. 7 加算率・補正係数の適用基準				表2. 7 加算率・補正係数の適用基準			
加算率	規 格 ・ 仕 様	標準	S ₀	全体 数量	規 格 ・ 仕 様	標準	S ₀
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃			S ₁ S ₂ S ₃ S ₄	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象 数量	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。但し、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂		施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。但し、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂
	枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕	吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。	K ₃		枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕	吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。	K ₃
(注) 各工種標準の垂直高は以下のとおりとする。 1) モルタル吹付工、コンクリート吹付工は45m以下。 2) 植生基材吹付工は45m以下。(下記図例を参照) 3) 客土吹付工は25m以下。 4) 種子散布工は30m以下。				(注) 各工種標準の垂直高は以下のとおりとする。 1) モルタル吹付工、コンクリート吹付工は45m以下。 2) 植生基材吹付工は45m以下。(下記図例を参照) 3) 客土吹付工は25m以下。 4) 種子散布工は30m以下。			
							
VI-2-④-10				現行どおり			
積算上の注意事項				(控え頁)			
				1/6			

工 種	法面工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																																																													
						現 行																																																																																																																													
現 行						改 正						備 考																																																																																																																							
(2) 加算率・補正係数の数値						(2) 加算率・補正係数の数値						歩掛改定に伴う修正																																																																																																																							
表2.8 加算率・補正係数の数値						表2.8 加算率・補正係数の数値																																																																																																																													
<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">記号</th><th rowspan="2">モルタル吹付工</th><th rowspan="2">コンクリート吹付工</th><th colspan="3">機械播種施工による植生工</th></tr><tr><th>植生基材吹付工</th><th>客土吹付工</th><th>種子散布工</th></tr><tr><td rowspan="5">加算率</td><td rowspan="5">施 工 規 模</td><td>S₀</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td></tr><tr><td>S₁</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 10%</td></tr><tr><td>S₂</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 15%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 15%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 10%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 10%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 20%</td></tr><tr><td>S₃</td><td>(250㎡未満) 30%</td><td>(250㎡未満) 30%</td><td>(250㎡未満) 20%</td><td>(250㎡未満) 20%</td><td>(250㎡未満) 40%</td></tr><tr><td>補正係数</td><td>K₁</td><td>1.05</td><td>1.05</td><td>1.05</td><td>1.05</td><td>1.10</td></tr><tr><td></td><td>K₂</td><td>—</td><td>—</td><td>1.10</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>K₃</td><td>0.80</td><td>0.80</td><td>0.80</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>						区 分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工				植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率	施 工 規 模	S ₀	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	S ₁	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 10%	S ₂	(250㎡以上 500㎡未満) 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 10%	(250㎡以上 500㎡未満) 10%	(250㎡以上 500㎡未満) 20%	S ₃	(250㎡未満) 30%	(250㎡未満) 30%	(250㎡未満) 20%	(250㎡未満) 20%	(250㎡未満) 40%	補正係数	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10		K ₂	—	—	1.10	—	—		K ₃	0.80	0.80	0.80	—	—	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">記号</th><th rowspan="2">モルタル吹付工</th><th rowspan="2">コンクリート吹付工</th><th colspan="3">機械播種施工による植生工</th></tr><tr><th>植生基材吹付工</th><th>客土吹付工</th><th>種子散布工</th></tr><tr><td rowspan="6">加算率</td><td rowspan="6">施 工 規 模</td><td>S₀</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td><td>(1,000㎡以上) 0%</td></tr><tr><td>S₁</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 510%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 510%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 510%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 510%</td><td>(500㎡以上 1,000㎡未満) 415%</td></tr><tr><td>S₂</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 4520%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 4520%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 415%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 415%</td><td>(250㎡以上 500㎡未満) 225%</td></tr><tr><td>S₃</td><td>(100㎡以上 250㎡未満) 235%</td><td>(100㎡以上 250㎡未満) 235%</td><td>(100㎡以上 250㎡未満) 225%</td><td>(100㎡以上 250㎡未満) 225%</td><td>(100㎡以上 250㎡未満) 445%</td></tr><tr><td>S₄</td><td>(100㎡未満) 50%</td><td>(100㎡未満) 50%</td><td>(100㎡未満) 50%</td><td>(100㎡未満) 50%</td><td>(100㎡未満) 60%</td></tr><tr><td>補正係数</td><td>K₁</td><td>1.05</td><td>1.05</td><td>1.05</td><td>1.05</td><td>1.10</td></tr><tr><td></td><td>K₂</td><td>—</td><td>—</td><td>1.10</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>K₃</td><td>0.80</td><td>0.80</td><td>0.80</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>						区 分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率	施 工 規 模	S ₀	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	S ₁	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 4 15%	S ₂	(250㎡以上 500㎡未満) 45 20%	(250㎡以上 500㎡未満) 45 20%	(250㎡以上 500㎡未満) 4 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 4 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 2 25%	S ₃	(100㎡以上 250㎡未満) 2 35%	(100㎡以上 250㎡未満) 2 35%	(100㎡以上 250㎡未満) 2 25%	(100㎡以上 250㎡未満) 2 25%	(100㎡以上 250㎡未満) 4 45%	S ₄	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 60%	補正係数	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10		K ₂	—	—	1.10	—	—		K ₃	0.80	0.80	0.80	—
区 分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工																																																																																																																															
				植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																																																													
加算率	施 工 規 模	S ₀	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%																																																																																																																												
		S ₁	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 10%																																																																																																																												
		S ₂	(250㎡以上 500㎡未満) 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 10%	(250㎡以上 500㎡未満) 10%	(250㎡以上 500㎡未満) 20%																																																																																																																												
		S ₃	(250㎡未満) 30%	(250㎡未満) 30%	(250㎡未満) 20%	(250㎡未満) 20%	(250㎡未満) 40%																																																																																																																												
		補正係数	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10																																																																																																																											
	K ₂	—	—	1.10	—	—																																																																																																																													
	K ₃	0.80	0.80	0.80	—	—																																																																																																																													
区 分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工																																																																																																																															
				植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																																																													
加算率	施 工 規 模	S ₀	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%	(1,000㎡以上) 0%																																																																																																																												
		S ₁	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 5 10%	(500㎡以上 1,000㎡未満) 4 15%																																																																																																																												
		S ₂	(250㎡以上 500㎡未満) 45 20%	(250㎡以上 500㎡未満) 45 20%	(250㎡以上 500㎡未満) 4 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 4 15%	(250㎡以上 500㎡未満) 2 25%																																																																																																																												
		S ₃	(100㎡以上 250㎡未満) 2 35%	(100㎡以上 250㎡未満) 2 35%	(100㎡以上 250㎡未満) 2 25%	(100㎡以上 250㎡未満) 2 25%	(100㎡以上 250㎡未満) 4 45%																																																																																																																												
		S ₄	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 50%	(100㎡未満) 60%																																																																																																																												
		補正係数	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10																																																																																																																											
	K ₂	—	—	1.10	—	—																																																																																																																													
	K ₃	0.80	0.80	0.80	—	—																																																																																																																													
(注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂)又は (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。 3. モルタル吹付工、コンクリート吹付工、植生基材吹付工における K₁、K₂ については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。 4. 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付けに限り、施工規模は合計施工数量で判定する。 5. 種子散布工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。 6. 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃、ラス金網設置を含まない場合に補正する。						(注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂)又は (S₃) または (S₄) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。 3. モルタル吹付工、コンクリート吹付工、植生基材吹付工における K₁、K₂ については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。 4. 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付けに限り、施工規模は合計施工数量で判定する。 5. 種子散布工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。 6. 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃、ラス金網設置を含まない場合に補正する。																																																																																																																													
積算上の注意事項												(控え頁) 2／6																																																																																																																							

工 種	法面工
-----	-----

改 正 理 由	一部改正			改 正	
		現 行		現 行	
		改 正			備 考
5. 施工単価入力基準表 (1) モルタル吹付工 施工歩掛コード WB810810 施工単位 m² 施工区分 入 力 条 件 各種 吹付厚 施工規模 時間制約を受ける場合の補正 枠内吹付の場合の補正 ① 5cm ② 6cm ③ 7cm ④ 8cm ⑤ 9cm ⑥ 10cm ① 1000 m²以上(標準) ② 500 m²以上1000 m²未満 ③ 250 m²以上500 m²未満 ④ 250 m²未満 ① 無 ② 有 ① 無 ② 有 (注) 1. J 2 条件で②～④を選択した場合は、J 3 条件は①で固定される。 2. J 2 条件の施工規模は、1 工事に、モルタル吹付工と枠内吹付工(モルタル)がある場合、合計施工数量で判定すること。 3. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第2章Q-1 法面整形工」により別途計上すること。 (2) コンクリート吹付工 施工歩掛コード WB810820 施工単位 m² 施工区分 入 力 条 件 各種 吹付厚 施工規模 時間制約を受ける場合の補正 枠内吹付の場合の補正 ① 10cm ② 15cm ③ 20cm ① 1000 m²以上(標準) ② 500 m²以上1000 m²未満 ③ 250 m²以上500 m²未満 ④ 250 m²未満 ① 無 ② 有 ① 無 ② 有 (注) 1. J 2 条件で②～④を選択した場合は、J 3 条件は①で固定される。 2. J 2 条件の施工規模は、1 工事に、コンクリート吹付工と枠内吹付工(コンクリート)がある場合、合計施工数量で判定すること。 3. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第2章Q-1 法面整形工」により別途計上すること。		5. 施工単価入力基準表 (1) モルタル吹付工 施工歩掛コード WB810810 施工単位 m² 施工区分 入 力 条 件 各種 吹付厚 施工規模 時間制約を受ける場合の補正 枠内吹付の場合の補正 ① 5cm ② 6cm ③ 7cm ④ 8cm ⑤ 9cm ⑥ 10cm ① 1000 m²以上(標準) ② 500 m²以上1000 m²未満 ③ 250 m²以上500 m²未満 ④ 100 m²以上250 m²未満 ⑤ 100 m²未満 ① 無 ② 有 ① 無 ② 有 (注) 1. J 2 条件で②～④⑤を選択した場合は、J 3 条件は①で固定される。 2. J 2 条件の施工規模は、1 工事に、モルタル吹付工と枠内吹付工(モルタル)がある場合、合計施工数量で判定すること。 3. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第2章Q-1 法面整形工」により別途計上すること。 (2) コンクリート吹付工 施工歩掛コード WB810820 施工単位 m² 施工区分 入 力 条 件 各種 吹付厚 施工規模 時間制約を受ける場合の補正 枠内吹付の場合の補正 ① 10cm ② 15cm ③ 20cm ① 1000 m²以上(標準) ② 500 m²以上1000 m²未満 ③ 250 m²以上500 m²未満 ④ 100 m²以上250 m²未満 ⑤ 100 m²未満 ① 無 ② 有 ① 無 ② 有 (注) 1. J 2 条件で②～④⑤を選択した場合は、J 3 条件は①で固定される。 2. J 2 条件の施工規模は、1 工事に、コンクリート吹付工と枠内吹付工(コンクリート)がある場合、合計施工数量で判定すること。 3. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第2章Q-1 法面整形工」により別途計上すること。			歩掛改定に伴う修正
積算上の注意事項					(控え頁) 4/6

工 種	法面工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																				
現 行				改 正		備 考																																																																		
(3) 機械播種施工による植生工 施工歩掛コードWB810830 施工単位㎡<table><tr><th colspan="6">入 力 条 件</th></tr><tr><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th><th>J 4</th><th>J 5</th><th>J 6</th></tr><tr><td>工 種 区 分</td><td>吹 付 厚</td><td>施 工 規 模</td><td>時間制約を受ける場合の補正</td><td>法 面 垂 直 高 による補正</td><td>枠内吹付の場合の補正</td></tr><tr><td rowspan="10">各 種</td><td>① 1 cm</td><td rowspan="11">① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 250 ㎡未満</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td></tr><tr><td>② 2 cm</td></tr><tr><td>③ 3 cm</td></tr><tr><td>④ 4 cm</td></tr><tr><td>⑤ 5 cm</td></tr><tr><td>⑥ 6 cm</td></tr><tr><td>⑦ 7 cm</td></tr><tr><td>⑧ 8 cm</td></tr><tr><td>⑨ 10cm</td></tr><tr><td>①植生基材吹付工 ②客土吹付工 ③種子散布工</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①を選択した場合は、J 2 条件は③～⑨より選択すること。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、J 2 条件は①～③より選択すること。 3. J 1 条件で③を選択した場合は、J 2 条件は選択する必要はない。 4. J 1 条件で②③を選択した場合は、J 5、J 6 条件は選択する必要はない。 5. J 3 条件の施工規模は、1 工事に、植生基材吹付工と枠内吹付工（植生基材）がある場合、合計施工数量で判定すること。 6. J 3 条件で②～④を選択した場合は、J 4 条件は①で固定される。 7. J 5 条件の法面垂直高補正は、施工基面から上面に施工する場合の法面垂直高が 45mを超え 80m以下の場合に②（補正有り）を選択する。ただし、施工基面から下面に施工する場合は、法面垂直高が 45mを超え 80m以下であっても①（補正無し）を選択すること。 8. 繊維ネットが必要な場合は、「(5) 繊維ネット工 WB810880」により別途計上すること。 9. J 1 条件で②を選択した場合でラス張が必要な場合は「第Ⅵ編第 2 章④－2 吹付枠工 WB811120」により別途計上することとし、その場合は“法面清掃を必要としない場合”を条件選択すること。 10. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第 2 章①-1 法面整形工」により別途計上すること。 11. 散水養生が必要な場合は、別途計上すること。				入 力 条 件						J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	工 種 区 分	吹 付 厚	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正	法 面 垂 直 高 による補正	枠内吹付の場合の補正	各 種	① 1 cm	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 250 ㎡未満	① 無 ② 有	① 無 ② 有	① 無 ② 有	② 2 cm	③ 3 cm	④ 4 cm	⑤ 5 cm	⑥ 6 cm	⑦ 7 cm	⑧ 8 cm	⑨ 10cm	①植生基材吹付工 ②客土吹付工 ③種子散布工	(3) 機械播種施工による植生工 施工歩掛コードWB810830 施工単位㎡<table><tr><th colspan="6">入 力 条 件</th></tr><tr><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th><th>J 4</th><th>J 5</th><th>J 6</th></tr><tr><td>工 種 区 分</td><td>吹 付 厚</td><td>施 工 規 模</td><td>時間制約を受ける場合の補正</td><td>法 面 垂 直 高 による補正</td><td>枠内吹付の場合の補正</td></tr><tr><td rowspan="10">各 種</td><td>① 1 cm</td><td rowspan="11">① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 100 ㎡以上 250 ㎡未満 ⑤ 100 ㎡未満</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td></tr><tr><td>② 2 cm</td></tr><tr><td>③ 3 cm</td></tr><tr><td>④ 4 cm</td></tr><tr><td>⑤ 5 cm</td></tr><tr><td>⑥ 6 cm</td></tr><tr><td>⑦ 7 cm</td></tr><tr><td>⑧ 8 cm</td></tr><tr><td>⑨ 10cm</td></tr><tr><td>①植生基材吹付工 ②客土吹付工 ③種子散布工</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①を選択した場合は、J 2 条件は③～⑨より選択すること。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、J 2 条件は①～③より選択すること。 3. J 1 条件で③を選択した場合は、J 2 条件は選択する必要はない。 4. J 1 条件で②③を選択した場合は、J 5、J 6 条件は選択する必要はない。 5. J 3 条件の施工規模は、1 工事に、植生基材吹付工と枠内吹付工（植生基材）がある場合、合計施工数量で判定すること。 6. J 3 条件で②～④⑤を選択した場合は、J 4 条件は①で固定される。 7. J 5 条件の法面垂直高補正は、施工基面から上面に施工する場合の法面垂直高が 45mを超え 80m以下の場合に②（補正有り）を選択する。ただし、施工基面から下面に施工する場合は、法面垂直高が 45mを超え 80m以下であっても①（補正無し）を選択すること。 8. 繊維ネットが必要な場合は、「(5) 繊維ネット工 WB810880」により別途計上すること。 9. J 1 条件で②を選択した場合でラス張が必要な場合は「第Ⅵ編第 2 章④-2 吹付枠工 WB811120」により別途計上することとし、その場合は“法面清掃を必要としない場合”を条件選択すること。 10. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第 2 章①-1 法面整形工」により別途計上すること。 11. 散水養生が必要な場合は、別途計上すること。		入 力 条 件						J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	工 種 区 分	吹 付 厚	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正	法 面 垂 直 高 による補正	枠内吹付の場合の補正	各 種	① 1 cm	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 100 ㎡以上 250 ㎡未満 ⑤ 100 ㎡未満	① 無 ② 有	① 無 ② 有	① 無 ② 有	② 2 cm	③ 3 cm	④ 4 cm	⑤ 5 cm	⑥ 6 cm	⑦ 7 cm	⑧ 8 cm	⑨ 10cm	①植生基材吹付工 ②客土吹付工 ③種子散布工	歩掛改定に伴う修正
入 力 条 件																																																																								
J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																			
工 種 区 分	吹 付 厚	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正	法 面 垂 直 高 による補正	枠内吹付の場合の補正																																																																			
各 種	① 1 cm	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 250 ㎡未満	① 無 ② 有	① 無 ② 有	① 無 ② 有																																																																			
	② 2 cm																																																																							
	③ 3 cm																																																																							
	④ 4 cm																																																																							
	⑤ 5 cm																																																																							
	⑥ 6 cm																																																																							
	⑦ 7 cm																																																																							
	⑧ 8 cm																																																																							
	⑨ 10cm																																																																							
	①植生基材吹付工 ②客土吹付工 ③種子散布工																																																																							
入 力 条 件																																																																								
J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																			
工 種 区 分	吹 付 厚	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正	法 面 垂 直 高 による補正	枠内吹付の場合の補正																																																																			
各 種	① 1 cm	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 100 ㎡以上 250 ㎡未満 ⑤ 100 ㎡未満	① 無 ② 有	① 無 ② 有	① 無 ② 有																																																																			
	② 2 cm																																																																							
	③ 3 cm																																																																							
	④ 4 cm																																																																							
	⑤ 5 cm																																																																							
	⑥ 6 cm																																																																							
	⑦ 7 cm																																																																							
	⑧ 8 cm																																																																							
	⑨ 10cm																																																																							
	①植生基材吹付工 ②客土吹付工 ③種子散布工																																																																							
(4) 人力施工による植生工 施工歩掛コードWB810870 施工単位㎡<table><tr><th colspan="3">入 力 条 件</th></tr><tr><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th></tr><tr><td>工 種 区 分</td><td>施 工 規 模</td><td>時間制約を受ける場合の補正</td></tr><tr><td rowspan="10">各 種</td><td>① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 500 ㎡未満 ④ 500 ㎡以上(標準) ⑤ 300 ㎡以上 500 ㎡未満 ⑥ 300 ㎡未満</td><td rowspan="11">① 無 ② 有</td></tr><tr><td>①植生マット工</td></tr><tr><td>②植生シート工（標準品）</td></tr><tr><td>③植生シート工（環境品）</td></tr><tr><td>④植生筋工</td></tr><tr><td>⑤筋芝工</td></tr><tr><td>⑥張芝工</td></tr><tr><td>①植生マット工</td></tr><tr><td>②植生シート工（標準品）</td></tr><tr><td>③植生シート工（環境品）</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①～③を選択した場合は、J 2 条件は①～③より選択すること。 2. J 1 条件で④～⑥を選択した場合は、J 2 条件は①～③より選択すること。 3. J 2 条件で②～③及び⑤～⑥を選択した場合、J 3 条件は①で固定される。 4. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第 2 章①-1 法面整形工」により別途計上すること。 5. 散水養生が必要な場合は、別途計上すること。 6. 植生マット工、植生シート工については、1 工事において植生マット工と植生シート工を使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。				入 力 条 件			J 1	J 2	J 3	工 種 区 分	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正	各 種	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 500 ㎡未満 ④ 500 ㎡以上(標準) ⑤ 300 ㎡以上 500 ㎡未満 ⑥ 300 ㎡未満	① 無 ② 有	①植生マット工	②植生シート工（標準品）	③植生シート工（環境品）	④植生筋工	⑤筋芝工	⑥張芝工	①植生マット工	②植生シート工（標準品）	③植生シート工（環境品）	(4) 人力施工による植生工 施工歩掛コードWB810870 施工単位㎡<table><tr><th colspan="3">入 力 条 件</th></tr><tr><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th></tr><tr><td>工 種 区 分</td><td>施 工 規 模</td><td>時間制約を受ける場合の補正</td></tr><tr><td rowspan="10">各 種</td><td>① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 250 ㎡未満 ④⑤ 500 ㎡以上(標準) ④⑤ 300 ㎡以上 500 ㎡未満 ⑤筋芝工 ⑥⑦ 100 ㎡以上 300 ㎡未満 ⑧ 100 ㎡未満</td><td rowspan="10">① 無 ② 有</td></tr><tr><td>①植生マット工</td></tr><tr><td>②植生シート工（標準品）</td></tr><tr><td>③植生シート工（環境品）</td></tr><tr><td>④植生筋工</td></tr><tr><td>⑤筋芝工</td></tr><tr><td>⑥張芝工</td></tr><tr><td>①植生マット工</td></tr><tr><td>②植生シート工（標準品）</td></tr><tr><td>③植生シート工（環境品）</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①～③を選択した場合は、J 2 条件は①～④⑤より選択すること。 2. J 1 条件で④～⑥を選択した場合は、J 2 条件は④⑤～⑥⑧より選択すること。 3. J 2 条件で②～④④④及び⑤⑤⑤～⑥⑥⑤を選択した場合、J 3 条件は①で固定される。 4. 法面整形が必要な場合は「第Ⅱ編第 2 章①-1 法面整形工」により別途計上すること。 5. 散水養生が必要な場合は、別途計上すること。 6. 植生マット工、植生シート工については、1 工事において植生マット工と植生シート工を使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。		入 力 条 件			J 1	J 2	J 3	工 種 区 分	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正	各 種	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 250 ㎡未満 ④⑤ 500 ㎡以上(標準) ④⑤ 300 ㎡以上 500 ㎡未満 ⑤筋芝工 ⑥⑦ 100 ㎡以上 300 ㎡未満 ⑧ 100 ㎡未満	① 無 ② 有	①植生マット工	②植生シート工（標準品）	③植生シート工（環境品）	④植生筋工	⑤筋芝工	⑥張芝工	①植生マット工	②植生シート工（標準品）	③植生シート工（環境品）																									
入 力 条 件																																																																								
J 1	J 2	J 3																																																																						
工 種 区 分	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正																																																																						
各 種	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 500 ㎡未満 ④ 500 ㎡以上(標準) ⑤ 300 ㎡以上 500 ㎡未満 ⑥ 300 ㎡未満	① 無 ② 有																																																																						
	①植生マット工																																																																							
	②植生シート工（標準品）																																																																							
	③植生シート工（環境品）																																																																							
	④植生筋工																																																																							
	⑤筋芝工																																																																							
	⑥張芝工																																																																							
	①植生マット工																																																																							
	②植生シート工（標準品）																																																																							
	③植生シート工（環境品）																																																																							
入 力 条 件																																																																								
J 1	J 2	J 3																																																																						
工 種 区 分	施 工 規 模	時間制約を受ける場合の補正																																																																						
各 種	① 1000 ㎡以上(標準) ② 500 ㎡以上 1000 ㎡未満 ③ 250 ㎡以上 500 ㎡未満 ④ 250 ㎡未満 ④⑤ 500 ㎡以上(標準) ④⑤ 300 ㎡以上 500 ㎡未満 ⑤筋芝工 ⑥⑦ 100 ㎡以上 300 ㎡未満 ⑧ 100 ㎡未満	① 無 ② 有																																																																						
	①植生マット工																																																																							
	②植生シート工（標準品）																																																																							
	③植生シート工（環境品）																																																																							
	④植生筋工																																																																							
	⑤筋芝工																																																																							
	⑥張芝工																																																																							
	①植生マット工																																																																							
	②植生シート工（標準品）																																																																							
	③植生シート工（環境品）																																																																							
積算上の注意事項		VI-2-④-12				(控え頁) 5／6																																																																		

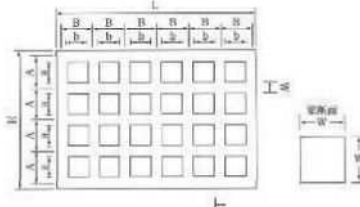
工 種	法面工
-----	-----

改 正 理 由	一部改正			改 正 現 行																																																						
現 行		改 正			備 考																																																					
7. 張芝工については、1 工事において法面工と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。		7. 張芝工については、1 工事において法面工と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。			歩掛改定に伴う修正																																																					
(5) 繊維ネット工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB810880</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>施 工 規 模</td><td>肥料袋の有無</td><td>時間制約を受ける場合の補正</td></tr><tr><td>① 1000 m² 以上(標準)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>② 500 m² 以上 1000 m² 未満</td><td>① 無</td><td>① 無</td></tr><tr><td></td><td>③ 500 m² 未満</td><td>② 有</td><td>② 有</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で②③を選択した場合は、J 3 条件は①で固定される。 2. 繊維ネット工を単独で施工する場合、J 1 条件の施工規模は繊維ネット工のみの 1 工事の全体数量で判定する。客土吹付工または種子散布工を併用する場合、J 1 条件の施工規模は客土吹付工または種子散布工の数量で判定する。 3. 植生工が必要な場合は、(3)機械播種による植生工 WB810830 により別途計上すること。		施工歩掛コード	WB810880	施工単位		m ²	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	施 工 規 模	肥料袋の有無	時間制約を受ける場合の補正	① 1000 m ² 以上(標準)			② 500 m ² 以上 1000 m ² 未満	① 無	① 無		③ 500 m ² 未満	② 有	② 有	(5) 繊維ネット工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB810880</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>施 工 規 模</td><td>肥料袋の有無</td><td>時間制約を受ける場合の補正</td></tr><tr><td>① 1000 m² 以上(標準)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>② 500 m² 以上 1000 m² 未満</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>③ 250 m² 以上 500 m² 未満</td><td>① 無</td><td>① 無</td></tr><tr><td></td><td>④ 250 m² 未満</td><td>② 有</td><td>② 有</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で②③④を選択した場合は、J 3 条件は①で固定される。 2. 繊維ネット工を単独で施工する場合、J 1 条件の施工規模は繊維ネット工のみの 1 工事の全体数量で判定する。客土吹付工または種子散布工を併用する場合、J 1 条件の施工規模は客土吹付工または種子散布工の数量で判定する。 3. 植生工が必要な場合は、(3)機械播種による植生工 WB810830 により別途計上すること。			施工歩掛コード	WB810880	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	施 工 規 模	肥料袋の有無	時間制約を受ける場合の補正	① 1000 m ² 以上(標準)			② 500 m ² 以上 1000 m ² 未満				③ 250 m ² 以上 500 m ² 未満	① 無	① 無		④ 250 m ² 未満	② 有
施工歩掛コード	WB810880	施工単位	m ²																																																							
施工区分	入 力 条 件																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3																																																							
	施 工 規 模	肥料袋の有無	時間制約を受ける場合の補正																																																							
	① 1000 m ² 以上(標準)																																																									
	② 500 m ² 以上 1000 m ² 未満	① 無	① 無																																																							
	③ 500 m ² 未満	② 有	② 有																																																							
施工歩掛コード	WB810880	施工単位	m ²																																																							
施工区分	入 力 条 件																																																									
各 種	J 1	J 2	J 3																																																							
	施 工 規 模	肥料袋の有無	時間制約を受ける場合の補正																																																							
	① 1000 m ² 以上(標準)																																																									
	② 500 m ² 以上 1000 m ² 未満																																																									
	③ 250 m ² 以上 500 m ² 未満	① 無	① 無																																																							
	④ 250 m ² 未満	② 有	② 有																																																							
VI-2-④-13																																																										
積算上の注意事項					(控え頁) 6／6																																																					

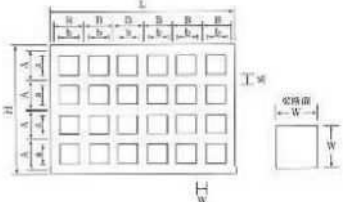
工 種	吹付砕工
-----	------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																											
現 行				改 正			備 考																																																																																								
する残土の積込み、運搬についても含む。 2－2 市場単価の規格・仕様 吹付砕工の規格・仕様区分は、下表のとおりである。 <table><caption>表2.1 規格・仕様</caption><tr><th colspan="2">区 分</th><th>規 格 ・ 仕 様</th><th>単 位</th></tr><tr><td rowspan="6">吹 付 砕 工</td><td rowspan="6">モルタル・ コンクリート</td><td>梁断面 150 × 150</td><td rowspan="6">m</td></tr><tr><td>〃 200 × 200</td></tr><tr><td>〃 300 × 300</td></tr><tr><td>〃 400 × 400</td></tr><tr><td>〃 500 × 500</td></tr><tr><td>〃 600 × 600</td></tr><tr><td colspan="2">ラ ス 張 工</td><td>法面清掃及びラス・アンカーピン設置</td><td>m²</td></tr></table> 2－3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 <table><caption>表2.2 加算率・補正係数の適用基準</caption><tr><th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th><th>適 用 基 準</th><th>記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="3">加 算 率</td><td rowspan="3">施 工 規 模</td><td>標準</td><td>S₀</td><td>全体数量</td></tr><tr><td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td><td>S₁ S₂ S₃</td><td>全体数量</td></tr><tr><td>通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>補 正 係 数</td><td>時 間 的 制 約 を 受 け る 場 合</td><td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₂</td><td>対象数量</td></tr></table> (2) 加算率・補正係数の数値 <table><caption>表2.3 加算率・補正係数の数値</caption><tr><th colspan="2">区 分</th><th>記 号</th><th>吹付砕工</th><th>ラ ス 張 工</th></tr><tr><td rowspan="4">加 算 率</td><td rowspan="4">施 工 規 模</td><td>S₀</td><td>500m以上 0%</td><td>1,000 m²以上 0%</td></tr><tr><td>S₁</td><td>250m以上500m未満 10%</td><td>500 m²以上1,000 m²未満 15%</td></tr><tr><td>S₂</td><td>100m以上250m未満 20%</td><td>250 m²以上500 m²未満 30%</td></tr><tr><td>S₃</td><td>100m未満 40%</td><td>250 m²未満 40%</td></tr><tr><td>補 正 係 数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>1.10</td><td>1.15</td></tr><tr><td></td><td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td><td>K₂</td><td>－</td><td>0.75</td></tr></table> (注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂) 又は (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K₂) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とそれが発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。 VI-2-④-15				区 分		規 格 ・ 仕 様	単 位	吹 付 砕 工	モルタル・ コンクリート	梁断面 150 × 150	m	〃 200 × 200	〃 300 × 300	〃 400 × 400	〃 500 × 500	〃 600 × 600	ラ ス 張 工		法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²	規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	記号	備 考	加 算 率	施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃	全体数量	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	補 正 係 数	時 間 的 制 約 を 受 け る 場 合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	区 分		記 号	吹付砕工	ラ ス 張 工	加 算 率	施 工 規 模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	250m以上500m未満 10%	500 m ² 以上1,000 m ² 未満 15%	S ₂	100m以上250m未満 20%	250 m ² 以上500 m ² 未満 30%	S ₃	100m未満 40%	250 m ² 未満 40%	補 正 係 数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15		ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	－	0.75	現行どおり 2－3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 <table><caption>表2.2 加算率・補正係数の適用基準</caption><tr><th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th><th>適 用 基 準</th><th>記号</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="3">加 算 率</td><td rowspan="3">施 工 規 模</td><td>標準</td><td>S₀</td><td>全体数量</td></tr><tr><td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td><td>S₁ S₂ S₃ S₄</td><td>全体数量</td></tr><tr><td>通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>補 正 係 数</td><td>時 間 的 制 約 を 受 け る 場 合</td><td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₂</td><td>対象数量</td></tr></table> 次頁へ移動			規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	記号	備 考	加 算 率	施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ S₄	全体数量	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	補 正 係 数	時 間 的 制 約 を 受 け る 場 合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	記載の変更
区 分		規 格 ・ 仕 様	単 位																																																																																												
吹 付 砕 工	モルタル・ コンクリート	梁断面 150 × 150	m																																																																																												
		〃 200 × 200																																																																																													
		〃 300 × 300																																																																																													
		〃 400 × 400																																																																																													
		〃 500 × 500																																																																																													
		〃 600 × 600																																																																																													
ラ ス 張 工		法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²																																																																																												
規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	記号	備 考																																																																																											
加 算 率	施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量																																																																																											
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃	全体数量																																																																																											
		通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																											
補 正 係 数	時 間 的 制 約 を 受 け る 場 合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																											
区 分		記 号	吹付砕工	ラ ス 張 工																																																																																											
加 算 率	施 工 規 模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																											
		S ₁	250m以上500m未満 10%	500 m ² 以上1,000 m ² 未満 15%																																																																																											
		S ₂	100m以上250m未満 20%	250 m ² 以上500 m ² 未満 30%																																																																																											
		S ₃	100m未満 40%	250 m ² 未満 40%																																																																																											
補 正 係 数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15																																																																																											
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	－	0.75																																																																																											
規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	記号	備 考																																																																																											
加 算 率	施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量																																																																																											
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ S₄	全体数量																																																																																											
		通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																											
補 正 係 数	時 間 的 制 約 を 受 け る 場 合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																											
積算上の注意事項		(控え頁) 1／5																																																																																													

工 種	吹付砕工
-----	------

改 正 理 由	一部改正		改 正		備 考																																								
	現 行		現 行																																										
現 行			改 正		備 考																																								
前頁から移動			(2) 加算率・補正係数の数値																																										
2－4 加算額 加算額の適用基準			表2.3 加算率・補正係数の数値		記載の変更																																								
表2.4 加算額の適用			表2.3 加算率・補正係数の数値																																										
<table><tr><th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th><th>適 用 基 準</th><th>単 位</th></tr><tr><td rowspan="3">加算額</td><td>水切モルタル・コンクリート</td><td>水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td><td>m²</td></tr><tr><td>表面コテ仕上げをする場合</td><td>吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。</td><td>m²</td></tr><tr><td>間詰モルタル・コンクリート</td><td>間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td><td>m²</td></tr></table>			規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	単 位	加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²	<table><tr><th>区 分</th><th>記 号</th><th>吹付砕工</th><th>ラス 張 工</th></tr><tr><td rowspan="5">加算率</td><td>S₀</td><td>500m²以上 0%</td><td>1,000 m²以上 0%</td></tr><tr><td>S₁</td><td>250m²以上 500m²未満 20%</td><td>500 m²以上 1,000 m²未満 20%</td></tr><tr><td>S₂</td><td>100m²以上 250m²未満 30%</td><td>250 m²以上 500 m²未満 35%</td></tr><tr><td>S₃</td><td>50m²以上 100m²未満 50%</td><td>100 m²以上 250 m²未満 45%</td></tr><tr><td>S₄</td><td>50m²未満 80%</td><td>100 m²未満 60%</td></tr><tr><td rowspan="2">補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合 K₁</td><td>1.10</td><td>1.15</td></tr><tr><td>ラス張工で法面清掃を 必要としない場合 K₂</td><td>—</td><td>0.75</td></tr></table>		区 分	記 号	吹付砕工	ラス 張 工	加算率	S ₀	500m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	250m ² 以上 500m ² 未満 20%	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 20%	S ₂	100m ² 以上 250m ² 未満 30%	250 m ² 以上 500 m ² 未満 35%	S ₃	50m ² 以上 100m ² 未満 50%	100 m ² 以上 250 m ² 未満 45%	S ₄	50m ² 未満 80%	100 m ² 未満 60%	補正係数	時間的制約を受ける場合 K ₁	1.10	1.15	ラス張工で法面清掃を 必要としない場合 K ₂	—	0.75
規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	単 位																																										
加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²																																										
	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²																																										
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²																																										
区 分	記 号	吹付砕工	ラス 張 工																																										
加算率	S ₀	500m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																										
	S ₁	250m ² 以上 500m ² 未満 20%	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 20%																																										
	S ₂	100m ² 以上 250m ² 未満 30%	250 m ² 以上 500 m ² 未満 35%																																										
	S ₃	50m ² 以上 100m ² 未満 50%	100 m ² 以上 250 m ² 未満 45%																																										
	S ₄	50m ² 未満 80%	100 m ² 未満 60%																																										
補正係数	時間的制約を受ける場合 K ₁	1.10	1.15																																										
	ラス張工で法面清掃を 必要としない場合 K ₂	—	0.75																																										
2－5 直接工事費の算出 直接工事費＝（設計単価（注1）×設計数量）＋加算額総金額（注2） （注1） 設計単価＝標準の市場単価×（1＋S ₀ 又はS ₁ 、S ₂ 又はS ₃ ／100）×（K ₁ ×K ₂ ） （注2） 加算額総金額＝加算額×総数量			（注）1．施工規模加算率（S ₁ ）、（S ₂ ）、（S ₃ ）又は（S ₄ ）と時間的制約を受ける場合の補正係数（K ₁ ）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2．ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数（K ₂ ）は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。																																										
3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 （1） 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。			現行どおり																																										
			2－5 直接工事費の算出 直接工事費＝（設計単価（注1）×設計数量）＋加算額総金額（注2） （注1） 設計単価＝標準の市場単価×（1＋S ₀ 又はS ₁ 、S ₂ 、S ₃ 又はS ₄ ／100）×（K ₁ ×K ₂ ） （注2） 加算額総金額＝加算額×総数量																																										
計算方法 縦枠：H×{（L－W）÷B＋1} 横枠：b×{（L－W）÷B}×{（H－W）÷A＋1}			次頁へ移動																																										
(2) 土質及び法勾配は問わない。 (3) モルタル・コンクリートの強度は18N／mm ² 程度以上とする。 (4) 異形棒鋼の材質はSD295、SD345を問わない。 (5) スターラップ（梁断面サイズ400×400以上）及び水抜パイプの有無は問わない。 (6) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 (7) 主アンカー（法枠交点部のアンカー）の種類による市場単価の適用の可否は次表による。 また、主アンカーに使用するアンカーバー及び補助アンカー（アンカーピン）の長さは1.0m以内とする。																																													
VI-2-④-16																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 2／5																																										

工 種	吹付砕工
-----	------

改 正 理 由	一部改正		改 正	
			現 行	
現 行			改 正	
前頁から移動			3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。	
				
			計算方法 縦枠： $H \times \{ (L - W) \div B + 1 \}$ 横枠： $b \times \{ (L - W) \div B \} \times \{ (H - W) \div A + 1 \}$	
			(2) 土質及び法勾配は問わない。 (3) モルタル・コンクリートの強度は18N／mm ² 程度以上とする。 (4) 異形棒鋼の材質はSD295、SD345を問わない。 (5) スターラップ（梁断面サイズ400×400以上）及び水抜パイプの有無は問わない。 (6) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 (7) 主アンカー（法枠交点部のアンカー）の種類による市場単価の適用の可否は次表による。 また、主アンカーに使用するアンカーバー及び補助アンカー（アンカーピン）の長さは1.0m以内とする。	
			現代どおり	
			次頁へ移動	
表3.1 各梁断面サイズの主アンカーによる適用				
主アンカー（法枠交点部のアンカー）				
梁断面 (mm)	アンカーバー (長さ1.0m以下)	グラントアンカー	ロックボルト	
150 × 150	○	×	×	
200 × 200	○	×	○ (注) 1	
300 × 300	○	×	○ (注) 1	
400 × 400	×	○ (注) 1	○ (注) 1	
500 × 500	×	○ (注) 1	×	
600 × 600	×	○ (注) 1	×	
(注) 1. ロックボルト、グラントアンカーの材料費及び施工費（労務＋機械経費）は含まない。 2. ロックボルトを設置する場合は「第Ⅵ編第2章市場単価⑩鉄筋挿入工(ロックボルト工)」。 グラントアンカーを設置する場合は、「第Ⅱ編第2章共通工⑬アンカー工(ロータリーパーカ ッション式)」により別途計上すること。				
(8) 梁断面サイズの50%を超える間詰モルタル・コンクリートが必要な場合は、別途考慮する。 なお、量の判定は各梁ごとに行う。 (9) 施工規模は、コンクリート吹付け、モルタル吹付けを問わず1工事の全体数量で判定する。 (10) 梁断面サイズ400 × 400以上の標準の設計アンカー力とは以下の場合をいい、これを超えるものについて は別途考慮する。				
表3.2 標準設計アンカー力				
梁断面 (mm)	設計アンカー力 kN (t f)			
	二 方 向	一 方 向		
400 × 400	150 (15.3) 以下	75 (7.7) 以下		
500 × 500	400 (40.8) 以下	200 (20.4) 以下		
600 × 600	600 (61.2) 以下	300 (30.6) 以下		
(11) 菱形金網は、線径2.0mm 網目50mm、アンカーピンはφ9 (D10) × L = 200mm・1.5本／㎡及びφ16(D16) × L = 400mm・0.3本／㎡をそれぞれ標準とする。 (12) 随意契約により調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定 する。				
VI-2-④-17				
積算上の注意事項				(控え頁) 3／5

工 種	吹付砕工
-----	------

改 正 理 由	一部改正		改 正																																																					
		現 行																																																						
現 行		改 正		備 考																																																				
前頁から移動 表4.3 施工規模 <table><tr><th>施 工 規 模</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>1000 m²以上 (標 準)</td><td>①</td></tr><tr><td>500 m²以上 1000 m²未満</td><td>②</td></tr><tr><td>250 m²以上 500 m²未満</td><td>③</td></tr><tr><td>250 m²未満</td><td>④</td></tr></table> (3) 水切モルタル・コンクリート (加算額) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB811130</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr></table> (注) 本コードは吹付砕工に対する加算額であり、必要に応じて計上する。なお、単独施工については適用出来ない。 (4) 表面コテ仕上げ (加算額) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB811140</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr></table> (注) 本コードは吹付砕工に対する加算額であり、必要に応じて計上する。なお、単独施工については適用出来ない。 (5) 間詰モルタル・コンクリート (加算額) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB811150</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr></table> (注) 本コードは吹付砕工に対する加算額であり、必要に応じて計上する。なお、単独施工については適用出来ない。 VI-2-④-19		施 工 規 模	入力番号	1000 m ² 以上 (標 準)	①	500 m ² 以上 1000 m ² 未満	②	250 m ² 以上 500 m ² 未満	③	250 m ² 未満	④	施工歩掛コード	WB811130	施工単位	m ²	施工歩掛コード	WB811140	施工単位	m ²	施工歩掛コード	WB811150	施工単位	m ²	(2) ラス張工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB811120</td><td>施工単位</td><td>m²</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>施工規模</td><td>時間的制約を受ける場合の補正</td><td>法面清掃を必要としない場合の補正</td></tr><tr><td>(表 4.3)</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で②～⑤を選択した場合は、J 2 条件は選択できない。 2. J 3 条件は吹付砕工に適用する場合は①、客上吹付工に適用する場合は②を選択すること。②を選択することにより、法面清掃とその際発生する残上の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。 表4.3 施工規模 <table><tr><th>施 工 規 模</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>1000 m²以上 (標 準)</td><td>①</td></tr><tr><td>500 m²以上 1000 m²未満</td><td>②</td></tr><tr><td>250 m²以上 500 m²未満</td><td>③</td></tr><tr><td>100 m²以上 250 m²未満</td><td>④</td></tr><tr><td>100 m²未満</td><td>⑤</td></tr></table> 現行どおり		施工歩掛コード	WB811120	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	施工規模	時間的制約を受ける場合の補正	法面清掃を必要としない場合の補正	(表 4.3)	①無 ②有	①無 ②有	施 工 規 模	入力番号	1000 m ² 以上 (標 準)	①	500 m ² 以上 1000 m ² 未満	②	250 m ² 以上 500 m ² 未満	③	100 m ² 以上 250 m ² 未満	④	100 m ² 未満	⑤	記載の変更
施 工 規 模	入力番号																																																							
1000 m ² 以上 (標 準)	①																																																							
500 m ² 以上 1000 m ² 未満	②																																																							
250 m ² 以上 500 m ² 未満	③																																																							
250 m ² 未満	④																																																							
施工歩掛コード	WB811130	施工単位	m ²																																																					
施工歩掛コード	WB811140	施工単位	m ²																																																					
施工歩掛コード	WB811150	施工単位	m ²																																																					
施工歩掛コード	WB811120	施工単位	m ²																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3																																																					
	施工規模	時間的制約を受ける場合の補正	法面清掃を必要としない場合の補正																																																					
	(表 4.3)	①無 ②有	①無 ②有																																																					
施 工 規 模	入力番号																																																							
1000 m ² 以上 (標 準)	①																																																							
500 m ² 以上 1000 m ² 未満	②																																																							
250 m ² 以上 500 m ² 未満	③																																																							
100 m ² 以上 250 m ² 未満	④																																																							
100 m ² 未満	⑤																																																							
積算上の注意事項				(控え頁) 5／5																																																				

工 種	橋梁付属物工
-----	--------

改 正 理 由			一部改正			改 正 現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
現 行										改 正										備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<参考資料> ◆市場準拠適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表 <table><tr><th rowspan="2">製 作 公 社 名</th><th colspan="2">伸 縮 装 置</th><th colspan="10">【用 途 関 係】</th><th colspan="4">備 考</th></tr><tr><th>名 称</th><th>型 番</th><th>歩車道区分</th><th>積雪地対応</th><th>設 方 向</th><th>立面部形状</th><th>伸縮量 (mm)</th><th>伸縮継手長さ (kg/m)</th><th>全 体 重 量 (kg/1.8 m)</th><th>分 類</th><th>本 体 材 質</th><th>本 体 価 格 に 含 む</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="5">橋 梁 メーカー</td><td>KMSジョイント</td><td>KMSIII-20,35,50,50W</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~50</td><td>6.24</td><td>68.4~161.1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr><tr><td></td><td>KMSIII-200,350,500,500W</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>6.24</td><td>72.0~164.7</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>二重止水構造付き標準板別途</td><td></td></tr><tr><td>KMAジョイント</td><td>KMA-60,80,110,160</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~160</td><td>17.36~33.55</td><td>57.60~169.74</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr><tr><td></td><td>KMA-60N,80N,110N,160N</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~160</td><td>17.52~33.71</td><td>61.20~174.96</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>二重止水構造付き標準板別途</td><td></td></tr><tr><td>シーバックジョイント</td><td>ST=000A,000A,1100A,1600A</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~160</td><td>12.86~14.36</td><td>81.36~151.92</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="10">シールド建設</td><td>SS-Vジョイント</td><td>SS=200,300</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>6.2</td><td>55.0~56.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>SS=100</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>40</td><td>6.2</td><td>67.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>STジョイント</td><td>ST=200,300,400,500,600,800</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~160</td><td>6.2~9.4</td><td>54.2~166.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2次シートジョイント</td><td>SMJ=20,30,50,70,100</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~160</td><td>6.2</td><td>61.1~129.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板付き</td><td></td></tr><tr><td>VHジョイント</td><td>VH</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20</td><td>6.2</td><td>31.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>鉛直伸縮量20mm</td><td></td></tr><tr><td>SS-Vジョイント(歩道用)</td><td>SS=V,SS=200,300</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>6.2</td><td>37.8~39.3</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>AIジョイント</td><td>AIJ=20,30</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>4.0</td><td>42.3~44.8</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>AIJ=40,50</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>40~50</td><td>6.2</td><td>55.3~58.1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>SBIジョイント</td><td>SBI=10</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>50</td><td>4.0</td><td>49.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>SBI=60,80</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~80</td><td>4.0</td><td>53.8~60.1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">山陽化学</td><td>チューリップジョイント30×型</td><td>20,35,50,60</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~100</td><td>1.56</td><td>50~100</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr><tr><td>チューリップジョイント50×型</td><td>20,35,50,60,80,100</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~100</td><td>1.56</td><td>68~77</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">新日本橋樑</td><td>スーパーリードジョイント</td><td>10~1s,1ss,1v</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>80</td><td>10.55</td><td>95~180</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板含む、二次止水構造別途</td><td></td></tr><tr><td></td><td>F</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>60</td><td>7.36</td><td>63.00</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板、二次止水構造別途</td><td></td></tr><tr><td></td><td>T</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>60</td><td>6.16</td><td>71.00</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>															製 作 公 社 名	伸 縮 装 置		【用 途 関 係】										備 考				名 称	型 番	歩車道区分	積雪地対応	設 方 向	立面部形状	伸縮量 (mm)	伸縮継手長さ (kg/m)	全 体 重 量 (kg/1.8 m)	分 類	本 体 材 質	本 体 価 格 に 含 む			橋 梁 メーカー	KMSジョイント	KMSIII-20,35,50,50W	○		○	○	20~50	6.24	68.4~161.1	○	○	○	標準板別途			KMSIII-200,350,500,500W	○		○	○	20~30	6.24	72.0~164.7	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途		KMAジョイント	KMA-60,80,110,160	○		○	○	60~160	17.36~33.55	57.60~169.74	○	○	○	標準板別途			KMA-60N,80N,110N,160N	○		○	○	60~160	17.52~33.71	61.20~174.96	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途		シーバックジョイント	ST=000A,000A,1100A,1600A	○		○	○	60~160	12.86~14.36	81.36~151.92	○	○	○			シールド建設	SS-Vジョイント	SS=200,300	○	○	○	○	20~30	6.2	55.0~56.5	○	○	○				SS=100	○		○	○	40	6.2	67.5	○	○	○			STジョイント	ST=200,300,400,500,600,800	○		○	○	20~160	6.2~9.4	54.2~166.5	○	○	○			2次シートジョイント	SMJ=20,30,50,70,100	○	○	○	○	20~160	6.2	61.1~129.5	○	○	○	標準板付き		VHジョイント	VH	○	○	○	○	20	6.2	31.5	○	○	○	鉛直伸縮量20mm		SS-Vジョイント(歩道用)	SS=V,SS=200,300	○		○	○	20~30	6.2	37.8~39.3	○	○	○			AIジョイント	AIJ=20,30	○		○	○	20~30	4.0	42.3~44.8	○	○	○				AIJ=40,50	○		○	○	40~50	6.2	55.3~58.1	○	○	○			SBIジョイント	SBI=10	○		○	○	50	4.0	49.5	○	○	○				SBI=60,80	○		○	○	60~80	4.0	53.8~60.1	○	○	○			山陽化学	チューリップジョイント30×型	20,35,50,60	○	○	○	○	20~100	1.56	50~100	○	○	○	標準板別途		チューリップジョイント50×型	20,35,50,60,80,100	○	○	○	○	20~100	1.56	68~77	○	○	○			新日本橋樑	スーパーリードジョイント	10~1s,1ss,1v	○	○	○	○	80	10.55	95~180	○	○	○	標準板含む、二次止水構造別途			F	○	○	○	○	60	7.36	63.00	○	○	○	標準板、二次止水構造別途			T	○	○		○	60	6.16	71.00	○	○	○			<参考資料> ◆市場準拠適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表 <table><tr><th rowspan="2">製 作 公 社 名</th><th colspan="2">伸 縮 装 置</th><th colspan="10">【用 途 関 係】</th><th colspan="4">備 考</th></tr><tr><th>名 称</th><th>型 番</th><th>歩車道区分</th><th>積雪地対応</th><th>設 方 向</th><th>立面部形状</th><th>伸縮量 (mm)</th><th>伸縮継手長さ (kg/m)</th><th>全 体 重 量 (kg/1.8 m)</th><th>分 類</th><th>本 体 材 質</th><th>本 体 価 格 に 含 む</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="5">橋 梁 メーカー</td><td>KMSジョイント</td><td>KMSIII-20,35,50,50W</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~50</td><td>6.24</td><td>68.4~161.1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr><tr><td></td><td>KMSIII-200,350,500,500W</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>6.24</td><td>72.0~164.7</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>二重止水構造付き標準板別途</td><td></td></tr><tr><td>KMAジョイント</td><td>KMA-60,80,110,160</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~160</td><td>17.36~33.55</td><td>57.60~169.74</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr><tr><td></td><td>KMA-60N,80N,110N,160N</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~160</td><td>17.52~33.71</td><td>61.20~174.96</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>二重止水構造付き標準板別途</td><td></td></tr><tr><td>シーバックジョイント</td><td>ST=000A,000A,1100A,1600A</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~160</td><td>12.86~14.36</td><td>81.36~151.92</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="10">シールド建設</td><td>SS-Vジョイント</td><td>SS=200,300</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>6.2</td><td>55.0~56.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>SS=100</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>40</td><td>6.2</td><td>67.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>STジョイント</td><td>ST=200,300,400,500,600,800</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~160</td><td>6.2~9.4</td><td>54.2~166.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2次シートジョイント</td><td>SMJ=20,30,50,70,100</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~160</td><td>6.2</td><td>61.1~129.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板付き</td><td></td></tr><tr><td>VHジョイント</td><td>VH</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20</td><td>6.2</td><td>31.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>鉛直伸縮量20mm</td><td></td></tr><tr><td>SS-Vジョイント(歩道用)</td><td>SS=V,SS=200,300</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>6.2</td><td>37.8~39.3</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>AIジョイント</td><td>AIJ=20,30</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>20~30</td><td>4.0</td><td>42.3~44.8</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>AIJ=40,50</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>40~50</td><td>6.2</td><td>55.3~58.1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>SBIジョイント</td><td>SBI=10</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>50</td><td>4.0</td><td>49.5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>SBI=60,80</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>60~80</td><td>4.0</td><td>53.8~60.1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">山陽化学</td><td>チューリップジョイント30×型</td><td>20,35,50,60</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~100</td><td>1.56</td><td>50~100</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr><tr><td>チューリップジョイント50×型</td><td>20,35,50,60,80,100</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>20~100</td><td>1.56</td><td>68~77</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>標準板別途</td><td></td></tr></table>															製 作 公 社 名	伸 縮 装 置		【用 途 関 係】										備 考				名 称	型 番	歩車道区分	積雪地対応	設 方 向	立面部形状	伸縮量 (mm)	伸縮継手長さ (kg/m)	全 体 重 量 (kg/1.8 m)	分 類	本 体 材 質	本 体 価 格 に 含 む			橋 梁 メーカー	KMSジョイント	KMSIII-20,35,50,50W	○		○	○	20~50	6.24	68.4~161.1	○	○	○	標準板別途			KMSIII-200,350,500,500W	○		○	○	20~30	6.24	72.0~164.7	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途		KMAジョイント	KMA-60,80,110,160	○		○	○	60~160	17.36~33.55	57.60~169.74	○	○	○	標準板別途			KMA-60N,80N,110N,160N	○		○	○	60~160	17.52~33.71	61.20~174.96	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途		シーバックジョイント	ST=000A,000A,1100A,1600A	○		○	○	60~160	12.86~14.36	81.36~151.92	○	○	○			シールド建設	SS-Vジョイント	SS=200,300	○	○	○	○	20~30	6.2	55.0~56.5	○	○	○				SS=100	○		○	○	40	6.2	67.5	○	○	○			STジョイント	ST=200,300,400,500,600,800	○		○	○	20~160	6.2~9.4	54.2~166.5	○	○	○			2次シートジョイント	SMJ=20,30,50,70,100	○	○	○	○	20~160	6.2	61.1~129.5	○	○	○	標準板付き		VHジョイント	VH	○	○	○	○	20	6.2	31.5	○	○	○	鉛直伸縮量20mm		SS-Vジョイント(歩道用)	SS=V,SS=200,300	○		○	○	20~30	6.2	37.8~39.3	○	○	○			AIジョイント	AIJ=20,30	○		○	○	20~30	4.0	42.3~44.8	○	○	○				AIJ=40,50	○		○	○	40~50	6.2	55.3~58.1	○	○	○			SBIジョイント	SBI=10	○		○	○	50	4.0	49.5	○	○	○				SBI=60,80	○		○	○	60~80	4.0	53.8~60.1	○	○	○			山陽化学	チューリップジョイント30×型	20,35,50,60	○	○	○	○	20~100	1.56	50~100	○	○	○	標準板別途		チューリップジョイント50×型	20,35,50,60,80,100	○	○	○	○	20~100	1.56	68~77	○	○	○	標準板別途		備 考	
製 作 公 社 名	伸 縮 装 置		【用 途 関 係】										備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	名 称	型 番	歩車道区分	積雪地対応	設 方 向	立面部形状	伸縮量 (mm)	伸縮継手長さ (kg/m)	全 体 重 量 (kg/1.8 m)	分 類	本 体 材 質	本 体 価 格 に 含 む																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
橋 梁 メーカー	KMSジョイント	KMSIII-20,35,50,50W	○		○	○	20~50	6.24	68.4~161.1	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMSIII-200,350,500,500W	○		○	○	20~30	6.24	72.0~164.7	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	KMAジョイント	KMA-60,80,110,160	○		○	○	60~160	17.36~33.55	57.60~169.74	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMA-60N,80N,110N,160N	○		○	○	60~160	17.52~33.71	61.20~174.96	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	シーバックジョイント	ST=000A,000A,1100A,1600A	○		○	○	60~160	12.86~14.36	81.36~151.92	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
シールド建設	SS-Vジョイント	SS=200,300	○	○	○	○	20~30	6.2	55.0~56.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		SS=100	○		○	○	40	6.2	67.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	STジョイント	ST=200,300,400,500,600,800	○		○	○	20~160	6.2~9.4	54.2~166.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	2次シートジョイント	SMJ=20,30,50,70,100	○	○	○	○	20~160	6.2	61.1~129.5	○	○	○	標準板付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	VHジョイント	VH	○	○	○	○	20	6.2	31.5	○	○	○	鉛直伸縮量20mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	SS-Vジョイント(歩道用)	SS=V,SS=200,300	○		○	○	20~30	6.2	37.8~39.3	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	AIジョイント	AIJ=20,30	○		○	○	20~30	4.0	42.3~44.8	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		AIJ=40,50	○		○	○	40~50	6.2	55.3~58.1	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	SBIジョイント	SBI=10	○		○	○	50	4.0	49.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		SBI=60,80	○		○	○	60~80	4.0	53.8~60.1	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
山陽化学	チューリップジョイント30×型	20,35,50,60	○	○	○	○	20~100	1.56	50~100	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	チューリップジョイント50×型	20,35,50,60,80,100	○	○	○	○	20~100	1.56	68~77	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
新日本橋樑	スーパーリードジョイント	10~1s,1ss,1v	○	○	○	○	80	10.55	95~180	○	○	○	標準板含む、二次止水構造別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		F	○	○	○	○	60	7.36	63.00	○	○	○	標準板、二次止水構造別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		T	○	○		○	60	6.16	71.00	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
製 作 公 社 名	伸 縮 装 置		【用 途 関 係】										備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	名 称	型 番	歩車道区分	積雪地対応	設 方 向	立面部形状	伸縮量 (mm)	伸縮継手長さ (kg/m)	全 体 重 量 (kg/1.8 m)	分 類	本 体 材 質	本 体 価 格 に 含 む																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
橋 梁 メーカー	KMSジョイント	KMSIII-20,35,50,50W	○		○	○	20~50	6.24	68.4~161.1	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMSIII-200,350,500,500W	○		○	○	20~30	6.24	72.0~164.7	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	KMAジョイント	KMA-60,80,110,160	○		○	○	60~160	17.36~33.55	57.60~169.74	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMA-60N,80N,110N,160N	○		○	○	60~160	17.52~33.71	61.20~174.96	○	○	○	二重止水構造付き標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	シーバックジョイント	ST=000A,000A,1100A,1600A	○		○	○	60~160	12.86~14.36	81.36~151.92	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
シールド建設	SS-Vジョイント	SS=200,300	○	○	○	○	20~30	6.2	55.0~56.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		SS=100	○		○	○	40	6.2	67.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	STジョイント	ST=200,300,400,500,600,800	○		○	○	20~160	6.2~9.4	54.2~166.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	2次シートジョイント	SMJ=20,30,50,70,100	○	○	○	○	20~160	6.2	61.1~129.5	○	○	○	標準板付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	VHジョイント	VH	○	○	○	○	20	6.2	31.5	○	○	○	鉛直伸縮量20mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	SS-Vジョイント(歩道用)	SS=V,SS=200,300	○		○	○	20~30	6.2	37.8~39.3	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	AIジョイント	AIJ=20,30	○		○	○	20~30	4.0	42.3~44.8	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		AIJ=40,50	○		○	○	40~50	6.2	55.3~58.1	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	SBIジョイント	SBI=10	○		○	○	50	4.0	49.5	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		SBI=60,80	○		○	○	60~80	4.0	53.8~60.1	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
山陽化学	チューリップジョイント30×型	20,35,50,60	○	○	○	○	20~100	1.56	50~100	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	チューリップジョイント50×型	20,35,50,60,80,100	○	○	○	○	20~100	1.56	68~77	○	○	○	標準板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
積算上の注意事項															(控え頁)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
															1 / 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

工 種	橋梁付属物工
-----	--------

改正理由		一部改正		改正 現行					
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行				改正				備考	
現行									

工 種	橋梁付属物工
-----	--------

[illegible]

工 種	橋梁付属物工
-----	--------

[illegible]

工 種	道路標識設置工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																															
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
(注) 施工規模加算 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K_i) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 (2) 加算率・補正係数の数値 表2. 16 加算率・補正係数の数値(設置工) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">記号</th><th>標識柱・基礎</th><th colspan="3">標識柱</th><th colspan="2">標識板</th><th colspan="2">添架式標識板 取付金具</th><th rowspan="2">基 礎</th></tr><tr><th>路側式</th><th>片持式</th><th>門型式</th><th>案内 (新設)</th><th>案内 (移設)</th><th>案内以外</th><th>信号・ 照明柱</th><th>歩道橋</th></tr><tr><td rowspan="4">加 算 率</td><td rowspan="4">施 工 規 模</td><td>S₀</td><td>5 基以上 0%</td><td>3 基以上 0%</td><td>3 基以上 0%</td><td>10 m²以上 0%</td><td>10 m²以上 0%</td><td>5 基以上 0%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>S₁</td><td>3～4 基 15%</td><td>2 基 40%</td><td>2 基 40%</td><td>10 m²未満 5%</td><td>10 m²未満 30%</td><td>3～4 基 15%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>S₂</td><td>2 基以下 25%</td><td>1 基 100%</td><td>1 基 100%</td><td>—</td><td>—</td><td>2 基以下 25%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>1. 10</td><td>1. 10</td><td>1. 05</td><td>1. 00</td><td>1. 05</td><td>1. 15</td><td>1. 05</td><td>1. 05</td></tr><tr><td rowspan="4">補 正 係 数</td><td rowspan="4">夜間作業</td><td>K₂</td><td>1. 30</td><td>1. 35</td><td>1. 35</td><td>1. 05</td><td>1. 35</td><td>1. 50</td><td>1. 15</td><td>1. 25</td><td>1. 25</td></tr><tr><td>K₃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1. 25</td></tr><tr><td>K₄</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1. 10</td></tr><tr><td>K₅</td><td>1. 10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> (注) 1. 「案内以外」は、警戒・規制・指示・路線番号標識に適用する。 2. 標識板設置の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。ただし、1工事において設置、及び撤去の作業がある場合は、設置・撤去それぞれの数量で判定する。				区 分		記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板 取付金具		基 礎	路側式	片持式	門型式	案内 (新設)	案内 (移設)	案内以外	信号・ 照明柱	歩道橋	加 算 率	施 工 規 模	S ₀	5 基以上 0%	3 基以上 0%	3 基以上 0%	10 m ² 以上 0%	10 m ² 以上 0%	5 基以上 0%	—	—	—	S ₁	3～4 基 15%	2 基 40%	2 基 40%	10 m ² 未満 5%	10 m ² 未満 30%	3～4 基 15%	—	—	—	S ₂	2 基以下 25%	1 基 100%	1 基 100%	—	—	2 基以下 25%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 05	1. 00	1. 05	1. 15	1. 05	1. 05	補 正 係 数	夜間作業	K ₂	1. 30	1. 35	1. 35	1. 05	1. 35	1. 50	1. 15	1. 25	1. 25	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 25	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 10	K ₅	1. 10	—	—	—	—	—	—	—	—	現行どおり 表2. 16 加算率・補正係数の数値(設置工) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">記号</th><th>標識柱・基礎</th><th colspan="3">標識柱</th><th colspan="3">標識板</th><th colspan="2">添架式標識板 取付金具</th><th rowspan="2">基 礎</th></tr><tr><th>路側式</th><th>片持式</th><th>門型式</th><th>案内 (新設)</th><th>案内 (移設)</th><th>案内以外</th><th>信号・ 照明柱</th><th>歩道橋</th></tr><tr><td rowspan="4">加 算 率</td><td rowspan="4">施 工 規 模</td><td>S₀</td><td>5 基以上 0%</td><td>3 基以上 0%</td><td>3 基以上 0%</td><td>10 m²以上 0%</td><td>10 m²以上 0%</td><td>5 基以上 0%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>S₁</td><td>3～4 基 25%</td><td>2 基 40%</td><td>2 基 40%</td><td>10 m²未満 5%</td><td>10 m²未満 30%</td><td>3～4 基 15%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>S₂</td><td>2 基以下 35%</td><td>1 基 100%</td><td>1 基 100%</td><td>—</td><td>—</td><td>2 基以下 25%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>1. 10</td><td>1. 10</td><td>1. 05</td><td>1. 00</td><td>1. 05</td><td>1. 15</td><td>1. 05</td><td>1. 05</td></tr><tr><td rowspan="4">補 正 係 数</td><td rowspan="4">夜間作業</td><td>K₂</td><td>1. 30</td><td>1. 35</td><td>1. 35</td><td>1. 05</td><td>1. 35</td><td>1. 50</td><td>1. 15</td><td>1. 25</td><td>1. 25</td></tr><tr><td>K₃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1. 25</td></tr><tr><td>K₄</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1. 10</td></tr><tr><td>K₅</td><td>1. 10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)				区 分		記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板			添架式標識板 取付金具		基 礎	路側式	片持式	門型式	案内 (新設)	案内 (移設)	案内以外	信号・ 照明柱	歩道橋	加 算 率	施 工 規 模	S ₀	5 基以上 0%	3 基以上 0%	3 基以上 0%	10 m ² 以上 0%	10 m ² 以上 0%	5 基以上 0%	—	—	—	S ₁	3～4 基 25%	2 基 40%	2 基 40%	10 m ² 未満 5%	10 m ² 未満 30%	3～4 基 15%	—	—	—	S ₂	2 基以下 35%	1 基 100%	1 基 100%	—	—	2 基以下 25%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 05	1. 00	1. 05	1. 15	1. 05	1. 05	補 正 係 数	夜間作業	K ₂	1. 30	1. 35	1. 35	1. 05	1. 35	1. 50	1. 15	1. 25	1. 25	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 25	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 10	K ₅	1. 10	—	—	—	—	—	—	—	—	現行どおり 表2. 17 加算率・補正係数の数値(撤去工) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">記号</th><th>標識柱・基礎</th><th colspan="3">標識柱</th><th colspan="2">標識板</th><th colspan="2">添架式標識板</th><th rowspan="2">基 礎</th></tr><tr><th>路側式</th><th>片持式</th><th>門型式</th><th>案内</th><th>案内以外</th><th>信号・ 照明柱</th><th>歩道橋</th></tr><tr><td rowspan="4">加 算 率</td><td rowspan="4">施 工 規 模</td><td>S₀</td><td>5 基以上 0%</td><td>3 基以上 0%</td><td>3 基以上 0%</td><td>10 m²以上 0%</td><td>5 基以上 0%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>S₁</td><td>3～4 基 25%</td><td>2 基 40%</td><td>2 基 40%</td><td>10 m²未満 30%</td><td>3～4 基 15%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>S₂</td><td>2 基以下 35%</td><td>1 基 100%</td><td>1 基 100%</td><td>—</td><td>2 基以下 25%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>1. 10</td><td>1. 10</td><td>1. 05</td><td>1. 05</td><td>1. 15</td><td>1. 05</td><td>1. 05</td></tr><tr><td rowspan="2">補 正 係 数</td><td rowspan="2">夜 間 作 業</td><td>K₂</td><td>1. 50</td><td>1. 35</td><td>1. 35</td><td>1. 35</td><td>1. 50</td><td>1. 25</td><td>1. 35</td><td>1. 35</td></tr></table> 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)				区 分		記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板		基 礎	路側式	片持式	門型式	案内	案内以外	信号・ 照明柱	歩道橋	加 算 率	施 工 規 模	S ₀	5 基以上 0%	3 基以上 0%	3 基以上 0%	10 m ² 以上 0%	5 基以上 0%	—	—	—	S ₁	3～4 基 25%	2 基 40%	2 基 40%	10 m ² 未満 30%	3～4 基 15%	—	—	—	S ₂	2 基以下 35%	1 基 100%	1 基 100%	—	2 基以下 25%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 05	1. 05	1. 15	1. 05	1. 05	補 正 係 数	夜 間 作 業	K ₂	1. 50	1. 35	1. 35	1. 35	1. 50	1. 25	1. 35	1. 35
区 分		記号	標識柱・基礎				標識柱			標識板		添架式標識板 取付金具		基 礎																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			路側式	片持式	門型式	案内 (新設)	案内 (移設)	案内以外	信号・ 照明柱	歩道橋																																																																																																																																																																																																																																																																																									
加 算 率	施 工 規 模	S ₀	5 基以上 0%	3 基以上 0%	3 基以上 0%	10 m ² 以上 0%	10 m ² 以上 0%	5 基以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		S ₁	3～4 基 15%	2 基 40%	2 基 40%	10 m ² 未満 5%	10 m ² 未満 30%	3～4 基 15%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		S ₂	2 基以下 25%	1 基 100%	1 基 100%	—	—	2 基以下 25%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 05	1. 00	1. 05	1. 15	1. 05	1. 05																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補 正 係 数	夜間作業	K ₂	1. 30	1. 35	1. 35	1. 05	1. 35	1. 50	1. 15	1. 25	1. 25																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 25																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 10																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		K ₅	1. 10	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区 分		記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板			添架式標識板 取付金具		基 礎																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			路側式	片持式	門型式	案内 (新設)	案内 (移設)	案内以外	信号・ 照明柱	歩道橋																																																																																																																																																																																																																																																																																									
加 算 率	施 工 規 模	S ₀	5 基以上 0%	3 基以上 0%	3 基以上 0%	10 m ² 以上 0%	10 m ² 以上 0%	5 基以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		S ₁	3～4 基 25%	2 基 40%	2 基 40%	10 m ² 未満 5%	10 m ² 未満 30%	3～4 基 15%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		S ₂	2 基以下 35%	1 基 100%	1 基 100%	—	—	2 基以下 25%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 05	1. 00	1. 05	1. 15	1. 05	1. 05																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補 正 係 数	夜間作業	K ₂	1. 30	1. 35	1. 35	1. 05	1. 35	1. 50	1. 15	1. 25	1. 25																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 25																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 10																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		K ₅	1. 10	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区 分		記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板		基 礎																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			路側式	片持式	門型式	案内	案内以外	信号・ 照明柱	歩道橋																																																																																																																																																																																																																																																																																										
加 算 率	施 工 規 模	S ₀	5 基以上 0%	3 基以上 0%	3 基以上 0%	10 m ² 以上 0%	5 基以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		S ₁	3～4 基 25%	2 基 40%	2 基 40%	10 m ² 未満 30%	3～4 基 15%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		S ₂	2 基以下 35%	1 基 100%	1 基 100%	—	2 基以下 25%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 05	1. 05	1. 15	1. 05	1. 05																																																																																																																																																																																																																																																																																								
補 正 係 数	夜 間 作 業	K ₂	1. 50	1. 35	1. 35	1. 35	1. 50	1. 25	1. 35	1. 35																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		VI-2-⑧-6				現行どおり				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																																																																																																																																																																																																									
積算上の注意事項										(控え頁) 1 / 1																																																																																																																																																																																																																																																																																									

工 種	鉄筋挿入工(ロックボルト工)
-----	----------------

改 正 理 由		一部改正				改 正 現 行																																																																																														
現 行						改 正				備 考																																																																																										
2－3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 表2. 4 加算率・補正係数の適用基準 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th colspan="2">適 用 基 準</th><th>記号</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">加算率</td><td rowspan="2">施工規模</td><td>標準</td><td></td><td>S₀</td><td rowspan="2">全体数量</td></tr><tr><td colspan="2">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。</td><td>S₁ S₂</td></tr><tr><td rowspan="2">補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td colspan="2">通常勤務すべき 1 日の作業時間(所定労働時間)を 7 時間以下 4 時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₁</td><td rowspan="2">対象数量</td></tr><tr><td>施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合</td><td colspan="2">現場条件Ⅰにおいて、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₂</td></tr></table> (2) 加算率・補正係数の数値 表2. 5 加算率・補正係数の数値 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>記号</th><th colspan="3">現 場 条 件</th></tr><tr><td rowspan="3">加算率</td><td rowspan="3">施工規模</td><td>S₀</td><td>(200m以上) 0%</td><td>(200m以上) 0%</td><td>—</td></tr><tr><td>S₁</td><td>(100m以上 200m未満) 10%</td><td>(100m以上 200m未満) 10%</td><td>—</td></tr><tr><td>S₂</td><td>(100m未満) 25%</td><td>(100m未満) 25%</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>1. 10</td><td>1. 10</td><td>1. 15</td></tr><tr><td>法面垂直高さ 20mを超え、 30m以下の場合</td><td>K₂</td><td>1. 15</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> (注) 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2－4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価 (注) ×設計数量 (注) 設計単価＝標準の市場単価× (1 + S₀ or S₁ or S₂／100) × (K₁×K₂) VI-2-⑩-4						区 分		適 用 基 準		記号	備考	加算率	施工規模	標準		S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。		S ₁ S ₂	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき 1 日の作業時間(所定労働時間)を 7 時間以下 4 時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K ₁	対象数量	施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	現場条件Ⅰにおいて、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K ₂	区 分		記号	現 場 条 件			加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	—	S ₁	(100m以上 200m未満) 10%	(100m以上 200m未満) 10%	—	S ₂	(100m未満) 25%	(100m未満) 25%	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 15	法面垂直高さ 20mを超え、 30m以下の場合	K ₂	1. 15	—	—	(2) 加算率・補正係数の数値 表2. 5 加算率・補正係数の数値 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>記号</th><th colspan="3">現 場 条 件</th></tr><tr><td rowspan="4">加算率</td><td rowspan="4">施工規模</td><td>S₀</td><td>(200m以上) 0%</td><td>(200m以上) 0%</td><td>—</td></tr><tr><td>S₁</td><td>(100m以上 200m未満) 10%40%</td><td>(100m以上 200m未満) 10%40%</td><td>—</td></tr><tr><td>S₂</td><td>(100m未満) 25%35%</td><td>(100m未満) 25%35%</td><td>—</td></tr><tr><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>1. 10</td><td>1. 10</td><td>1. 15</td></tr><tr><td rowspan="2">補正係数</td><td>法面垂直高さ 20mを超え、 30m以下の場合</td><td>K₂</td><td>1. 15</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> (注) 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。						区 分		記号	現 場 条 件			加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	—	S ₁	(100m以上 200m未満) 10% 40%	(100m以上 200m未満) 10% 40%	—	S ₂	(100m未満) 25% 35%	(100m未満) 25% 35%	—	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 15	補正係数	法面垂直高さ 20mを超え、 30m以下の場合	K ₂	1. 15	—	—	歩掛改定に伴う修正	
						区 分		適 用 基 準		記号	備考																																																																																									
						加算率	施工規模	標準		S ₀	全体数量																																																																																									
								1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。		S ₁ S ₂																																																																																										
						補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき 1 日の作業時間(所定労働時間)を 7 時間以下 4 時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K ₁	対象数量																																																																																									
							施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	現場条件Ⅰにおいて、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K ₂																																																																																										
						区 分		記号	現 場 条 件																																																																																											
						加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	—																																																																																									
								S ₁	(100m以上 200m未満) 10%	(100m以上 200m未満) 10%	—																																																																																									
								S ₂	(100m未満) 25%	(100m未満) 25%	—																																																																																									
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 15																																																																																															
	法面垂直高さ 20mを超え、 30m以下の場合	K ₂	1. 15	—	—																																																																																															
区 分		記号	現 場 条 件																																																																																																	
加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	—																																																																																															
		S ₁	(100m以上 200m未満) 10% 40%	(100m以上 200m未満) 10% 40%	—																																																																																															
		S ₂	(100m未満) 25% 35%	(100m未満) 25% 35%	—																																																																																															
		時間的制約を受ける場合	K ₁	1. 10	1. 10	1. 15																																																																																														
補正係数	法面垂直高さ 20mを超え、 30m以下の場合	K ₂	1. 15	—	—																																																																																															
	積算上の注意事項		(控え頁)																																																																																																	
		1／1																																																																																																		